京城日報
十七日夕刊
定價 ……
發行所 京城大平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田……
印刷人 ……口……太郎

第三十七回帝國議會

速記錄問題の大紛爭

夜に及べる十六日の下院本會議

▼劈頭の閑葛藤

十六日の衆議院は速記錄掲載事件に關する與黨各派の交渉暇取り一時五十分漸く開會、劈頭

△伊東知也氏（國民）登壇議長に對し開會時刻の不正確を詰り議長は本日政府委員は大藏總裁より招かれ出席時刻遲延の旨通知ありたるにより其趣を各派幹事に通知し置きたりと告ぐるやそんな事は聞かぬと云ふものありしより議長はそれは幹事の怠慢なりと言ふや議場俄かに動搖めき

△佐々木安五郎氏（國民）十四日の本會議に於て余の懲罰の可否を投票したる際投票が名刺の數と相違し居れり斯る決議は神聖ならずと議長に質し議長は名刺數と投票數と相違し居たるも結果に影響せず斯かる例は幾度もありと答へ上塚安太郎氏怠慢と言へる議長の言辭を詰りたるも議長之に應へず

▼文相の立往生

日程に入る旨を宣し高田文相を除く文相登壇議案の說明をなさんとしたるも議場喧囂を極め卓を叩くもの足を踏むもの等にて文相は何等言ふ能はず壇上に立往生し餘儀なく復席す、田川大吉郎氏（中正）登壇議長に取消を勸告し議長は田川氏の勸告を容れ快く取消したるも議場は更に鎭靜に歸せず議長は再度日程に入る旨を宣し文相を招く文相再度登壇したるも國民黨側議長々々を連發して文相又說明する能はず餘儀なく又復席し議場の鎭靜を待て三度登壇（一）帝國大學特別會計法中改正法律案の提出理由を說明し復席するや

△杉山四五郎氏（政友）登壇傳染病研究所移管の失當より論じて反對し、大津参政官の說明あり更に兩者間に二三應答ありて九名の委員附託

（二）假登記法中改正法律案 加藤大藏省参政官提出理由を說明し九名の委員附託

（三）造幣局設備擴張費に關する法律案 加藤政府委員の說明ありて九名の委員付託

（四）明治四十四年法律第五十一號中改正法律案 石井外相提案理由を說明し九名の委員附託

▼恒例の禁酒案

次で（五）未成年者禁酒法案

△根本正氏（政友）登壇、例により長々しき說明を試ろみ降壇するや伊東知也氏（國民）反對意見を述べて上戸黨の爲めに萬丈の氣焰を吐き根本氏之を駁し本案は國家百年の大計を立つるものにして反對論者の說の如きは一顧の價値なしと駁論し次で佐々木安五郎氏は本案は每年貴族院に於て否決せらるゝ愚案にして例令之を法律とするも到底實行する能はず法を出して行ふ能はざれば法の威信を損ふ依て速決せられたしと反對し議長は採決を起立に問ひ多數にて委員附托

（六）稅制整理に關する建議案 石橋爲之助氏（中正）登壇提案理由を說明し九名の委員附托

之れにて本日の日程を畢り速記掲載問題の議事に入る時に五時

▼議場亂麻となる

△川上榮太郎氏（政友）議事進行に就き動議ありとて登壇去る十四日の本會議に於て廣岡宇一郎氏の質問に對し尾崎法相豫審調書全部の提供を求めたるにより廣岡氏之を速記錄に掲載することゝせしに然るに該豫審調書の未だ官報に掲載せられざるは何故なるやと質し議長右は五百餘に亙る大部にして印刷能力之を許さず故に院議に諮つて採決せんとしたる爲めなりと答へ武內作平氏（同志）發言を求め發言せんとするや野黨は何の發議ぞまだ議題となり居らずと叫び喧々囂々兩黨の議員議長席に驅け登る者多し議長は尙ほ之を議題と爲す旨を宣するや野黨は依然として手續の違法を責め議長三たび之れを議題とするの可否を議場に諮ると宣し野黨の反對ありたるも可否を多數に問ひ多數と宣し武內氏の登壇を許すや議場の沸騰其極に達し喊聲を揚げ卓を叩きて議長の非を鳴らし竹內氏掲載反對說を述べたるも議場紛擾人語を聽取する能はず

▼花井氏のお裁き

△花井卓藏氏（中正）許可を得て登壇此問題の現はれたる場合は日程の總てを終了したる折なれば順序として議長は會議は終了せり尙ほ會議を繼續す可きや否やを議場に諮る可きなり議長の意思は此にありざりしやと議長の爲に活路を開き議長之に從ひ更に會議を繼續す可きや否やを諮り

△關直彥氏（國民）登壇從來大部の者を速記に登載したる例あり議長にして之を不能とせず十四日の會議に於て其可否を議場に諮る可きに今日まで等閑に附せるは曠職の責を免かれず議長は宜しく其責に任ず可し

▼野黨投票せず

午後八時十五分再開、島田議長は休會前に引續き議題となれる問題を議題とす可しと宣するや野黨は如何なる議題なりやと質す

△松田源治氏（政友）廣岡君が豫審調書を速記錄に掲載す可しとの要求を爲したる際議長之を默許したるに非ずや（電文不明）以前問題となりたる事件を再び議事に附す可からずとの動議を提出し議長之を記名投票に問ひたる結果百五十六票に對する九十二票にて否決、次で

△廣岡宇一郎氏（政友）登壇先例を張調し議長は先例を蹂躙するものなりと喝破し政國兩黨の喝采に際會し次いで山口俊一氏（同志）討論終結の動議を提出し政國兩黨の反對ありしが之を投票に問ひたるに八十七票に對する百四十八票にて討論終結に決し議長は廣岡君提出の豫審調書を速記錄に掲載するの可否を決する爲め記名投票を行ふ可しと宣し政國兩黨は投票の方法に異議ありとて投票を行はず與黨のみ點呼に應じ其の結果百五十二票に對する零にて可決十一時散會せり（東京特電）

――幅檥延著――

▲內閣彈劾決議案提出

大隈內閣彈劾決議案は愈々十六日政國兩黨及び純無所屬團より衆議院に提出せられたり（東京特電）

決議案

現內閣の瀆職の獄起るに際し罪を閣臣の一人に嫁して責任を回避し口を聖旨に藉りて留任を敢てせるは立憲の大義に反す加之大浦前內相不起訴の如き乃木家再興の如き共に大臣補弼の道を誤る者と認む閣臣は速に引責處決す可し

▲首相法相彈劾案提出

公友俱樂部代議士大塚茂馬氏は十六日衆議院に對し菊地武德（中正）大芝惣吉（公友）高木益太郎（國民）長島隆二（純無）阪本金彌（同）其他二十一名の贊成を得て尾崎法相大隈首相彈劾の決議案を提出したり（東京特電）

○山道氏補缺當選

廣島縣選出代議士井上角五郎氏失格に付十五日施行せる同縣選擧會に於て次點者山道襄一氏（同志）補缺當選したり（東京特電）

○五國宣言は至極輕し

十五日午後五時五國公使の述べたる內容は帝政は傍觀するも若し是れが爲め事件發生し外國の被むる損害あらば支那其責に任ず可しとの注意的勸告に過ぎずして至極簡單の者なりし爲め支那外交當局は內容右の如く簡單にして輕きものなりしを豫想外なりしと滿足の意を表し居れり尙支那政府は明日（十六日）午後或は之を發表するやも知れず（北京特電）

○黎元洪の親王册立

十五日袁大總統策令に曰く中國を異種族の手より回復せしは辛亥武昌に事を起せし者の功多きに居る其勳業の偉大なる今に迨び愈顯はる上將黎元洪は特に中央を擁護し大局を力保し第二革命亂に際し師を起して之が撲滅に努めて功績も大なり約法第二十七條にて皆特に勳烈を昭かにす元洪を武義親王に册立す慶んで受けよと（北京特電）

○池田渡邊中村三氏

池田遞信局長官、渡邊高等法院長、中村檢事長等は十七日午前十時三十分發列車にて歸任す（釜山特電）

雜報

◎山東上海連絡

前日滿鐵南滿島上海間連絡線につき上海部日滿南京方面視察旅行中なりし北田山陽營業主任は上海滿鐵埠頭出張所と運絡上の打合を爲し八日歸社せるが何れ滿鐵社と審議の上調印の筈なるが今後は運賃の如き一切擔當の上海間運何と定めて青島埠頭に於ける總ての費用まで加算し上海滿鐵間の輸送につきては山鐵全責任を以て荷主に代り取扱ふ由にて來年一月より愈々實行すべしと（青島）

◎露貨下落一方

從來邦貨百圓に付百六十三留たりし日露直通貨物換算率は露貨又々下落の爲め十七日より百圓に付き百六十五留（落差二留）と協定成りたり

◎總督邸茶話會

山縣政務總監は十七日午前十一時三十分より入京中なる各道水產主任技術者を總督邸に招待して茶菓の饗應あり、關係各部長官、局長、課長、技師等亦多數參列したり

◎水技官會同（第五日）

各道水產主任技術者會同第五日は前日に引續き午前九時三十分より總督府第二會議室に開催出席者前日の如く石塚長官統裁の下に豫定の日程に入りしが午前十一時半より總督邸茶話會に臨み午後一時再び開催日程を議了して午後三時散會したり

◎定例長官會議

二十七日は山縣政務總監以下各部長官、局長、代理等午前十時より總督府第一會議室に參集重要政務に付き打合せの上午前十一時散會したり

◎辭令

十五日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府判事從七位 金大經
任朝鮮總督府檢事敍高等官七等

朝鮮總督府判事朝鮮總督府通譯生 韓奎鏞
同 朴有禎
同 全炳夏
任朝鮮總督府判事敍高等官八等

◎試製乾蝦入札

總督府にては水產試驗の試製に係る乾蝦約百貫匁を賣却する由にて拂下希望者は十八日午前中總督府會計課用度に出頭し見本一覽の上入札す可しと

◎滿鮮直通著發遲延

十七日午後九時十分南大門通過釜山へ向ふべき滿鮮直通列車は東滿線降雪の爲め線路故障を生じ長春驛にて五時間の遲延を來したるより長春南大門間に於て多少恢復はあらむも延著發の筈也

人事消息

▲丹羽清次郎氏（青年會幹事）十六日夜釜山より歸任

▲岡本功氏（第九師團參謀長）實弟卒去の爲め十九日出發熊本に歸省

○敵潜航艇防禦奏效

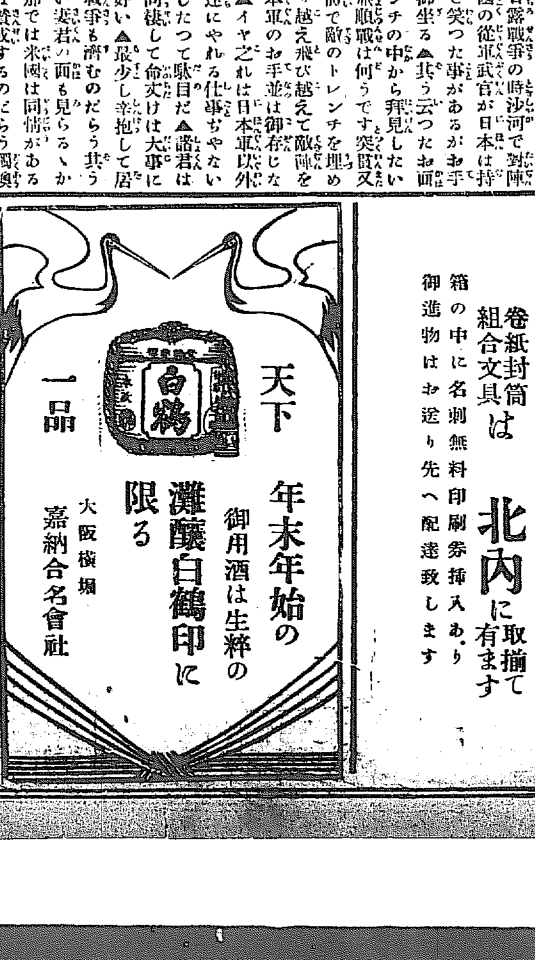
マルタ島來電に曰く地中海に於ける敵の潜航艇襲擊に對し英佛伊三國各軍の防禦計畫は奏效頗る顯著なるものゝ如し即ち過去十日間に於て船舶の蒙害數の毫も減少せざるに拘はらず地中海航路の船舶に何等被害の報知なきを以て知るべし（紐育電報）

南言北語

巴爾幹方面でも露獨方面でも戰爭はやつぱりポツ／＼進んで行く樣なが此頃薩つぱり休んで居るか分らないのは白佛方面の聯合軍と獨軍だ▲何にをして居るかと調べて見ると何の事だ土龍の眞似をして居る▲而し戰爭の喧嘩の眞似をして見たり鳥は野蠻時代の復習だから穴居も好からう鳥の眞似も好からう▲頭を地上に出すとパチッと來るからトレンチの中からは烏渡も頭を出せぬからだと云ふ▲日露戰爭の時沙河で對陣した際某外國の從軍武官が日本は持久戰をやると笑つた事があるがお手前は如何で御坐る▲其う云つたお前を烏渡トレンチの中から拜見したいものだね▲旅順戰は何うです突貫又突貫で我旣に敵のトレンチを埋め其の上を乘り越え飛び越えて敵陣を突破した日本軍のお手並は御存じないのか知ら▲イヤ之れは日本軍以外世界の軍人達にやれる仕事ぢやないと云つて聞かしたつて駄目だ▲諸君は先づ土龍と同樣して命丈けは大事にして居るが好い▲最少し辛抱して居れば其儘で戰爭も濟むのだらう其したら可愛い妻君の面も見らるゝからなあ▲支那では米國は同情がある▲から帝政には贊成するのだらう獨逸は政略上之れも反對はない筈協商側だつて英佛は支那に反感を抱かしめぬ樣に勸告は固執すまい▲獨り日本許りが頑張るだらうが何の效もあるまい▲而し日本を怒らすは支那の得策でないからと云つて日本の態度を決して恐るゝのではないと云つて居る▲が、今度の帝政急施に關しては東京の陸公使から日本から又た勸告が舞ひ込むぞと打電したので其れは大變だと遽に國體變更を急がしたげな日本が恐ろしくなければ何故に閣議のだ▲要するに協商側の支那再勸告は協調が離斷したらしい之れだから吾人は始めからハラ／＼思つて居た譯だ▲北京の米公使なぞは上海の騷亂も烏渡烽火を上げた丈けで濟んだ▲日本が是れ以上內政に干渉の意なきは議會に於ける石井外相の說明で明かだ▲されば帝政準備が終ると共に帝政は實現するだらうと云つて居る▲議會で外交は秘密に亙る事多くしてとれ石井外相が云つて居る內に北京の米公使は其の秘密を洩らし連中には其の秘密が知れないのかナア『雄辯は銀なり沈默は金なり』を『多辯は金庫なり駄辯は米櫃なり』では大に心細いこツた

資本金五拾七萬五千圓（全部拂込濟）
諸積立金廿二萬五千貳百圓
京城南大門通一丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
電話五五八番・六八番 振替京城一六三四一番
銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬
一般銀行業
倉庫業
電話五四四番・一七〇二番 振替二五八二番・二一九四番 南大門支店 本町支店
電話八四九番・一〇六二番 振替一六〇六番 仁川支店 平澤支店

實用向でいきなお歲暮
卷紙封筒組合文具は
京城本町の北內に取揃て有ます
箱の中に名刺無料印刷券挿入あり
御進物はお送り先へ配達致します



朝鮮元山
合資會社 丸吉回漕店
電話二〇番・二三八番
朝鮮郵船會社代理店
大阪商船會社取次店
日本郵船會社取扱店
通關部 電話一五二番
東京海上
日本海上
大平生命
大阪火災海上
保險會社代理店
運送部 電話五三五番
通關特許
鐵道局承認運送人
荷捌所 電話二三番・二〇四番

期節物廣告
○荒卷鮭○數之子棒鱈○鮭筋子○鰹節○味の素○諸罐詰○乾物類
右例年の通精良品充分取揃居候間何卒多少に不拘御用命願上候
○鰹節味の素は化粧箱各種取揃居候
○相場表は御一報次第御送付申上候
京城南大門市場
食料品問屋 力 辻本商店
電話（ツ）長七五番・六四一番
京城振替貯金口座（三八番）

歳末小景——餅搗き

観兵式に列して何を感じたか
在郷軍人會の權威＝臼井少將の談

青山の觀兵式に次いで東京灣の觀艦式、是等は御大禮とは別問題ではあつたが軍國の皇帝として即位式の後直さに偉大な陸海軍を統率し給ひ玉體にも御儀式にも何のお支障もなかつた事は寶祚の無窮と共に

■國體の萬々歳を 表象し奉つた樣なものである觀艦式は全海軍を集めた譯だが慾を言へば觀兵式は尚少し大規模にしたかつた今度の觀兵式は毎年正月八日の陸軍始に行はれるものよりは規模は大であつたが大演習の後に行はせらるるのや凱旋觀兵式よりは小規模であつた今迄日本で行はれた觀兵式の最も大規模であつたのは對抗した二箇師團が一緒になつて其れに豫後備部隊が加つて五箇師團近くの人員でやつた演習後の觀兵式であつた然し今度は特別の意味があるのだから切めて七八箇師團を集めてやり度かつた無論青山ではやれないから關西地方にでも

■適當の地を選び て若し便利が惡るければ鐵道でも假設して大に日本帝國の武力を示してやり度かつた、帝國の武備は恁の如く精鋭だと云ふ事を一には國民に顯示し二には交戰の列强に見せてやる其機會として最もいゝ時機だつたと思ふ然し今度の觀兵式では普通の時と異つて非常に愉快な事が二つあつた一は在郷軍人代表者の參列と二は飛行機の美事な飛行振りである青山練兵場の周圍にズラリと並列してゐた六千餘旗の分會旗は實に一種

■頼もしい感じを 與へた分會の數は約一萬許りあつて殆んど其過半數の代表者が集まつた譯なのだが畏くも 陛下には二重橋内御車寄前に整列した分會代表者に御賜謁遊ばされ親しく勅語迄賜つた是會長に寺内總督の如き權威を戴いてゐるからだと云ふ人もあつたが決してさうではない在郷軍人はさう解釋されてはならないものだ日本こそもの、獨逸佛蘭西あたりでは古くから在郷軍人會は數年前から組織されたらある殊に獨逸に於ける設備なり内容なりは最も範とするに足り殆んど之を以て

■軍國主義の根蔕 となさしめてゐるの觀がある一度兵役を了へた者は皆在郷軍人である補充兵も在郷軍人である恁くて殆んど全國民は在郷軍人となるのである現役の軍隊と相呼應して軍國の事が萬事成る其れが直に輿論となるのである强大な獨逸の軍國主義は誠に其據つて興る所淺くないのである現代に於ては流石に軍國主義を非難する者は無い筈だ予が軍人だから軍國主義を云々するのだと言はれるかも知れないが現に獨逸の歐洲に於ける勢力を見れば直に解る寄つて集つた聯合國で爲す處を知らぬ時

■獨逸は何處かで 何かしてゐる何等かの攻勢に出てゐる頃日來英佛聯合軍は頻りに會議を開いて戰略の協議をしてた樣だつた然しさう云ふ電報が來るとすぐ其後から『聯合軍は整然として退却す』と云ふ電報が來るまるで整然とした退却をする爲めに協議してる樣なものだと云つて笑つた事だが恁くて英佛軍は遂にアルバニヤの地に隻影を止めないと云ふ事だ獨逸がアルバニアを經營する樣になれば荒蕪地を沃野に化すであらう聯合軍はサロニカに退いて集團した模樣だが獨墺兵がサロニカの主人となるのは餘り遠い事ではあるまいサロニカが

■獨墺軍の手に歸 した時地中海の制海權は決して英國のものではなくなる無論蘇西運河は危險となる隨つて埃及の危急、波斯アフガニスタンの動搖、延いて印度の不安は當然の事である日本が軍備を嚴にし軍國主義を固く護らねばならない事は今更喋々する迄もない事だ無論日本は東洋を安固にしさへすればいゝ歐洲出兵など夢寐にも思はないが軍國主義の礎石に立つてこそ意を强うもし得るのではないか危急は目睫の前に迫つてゐるのに

■軍國の議會では 徒らに交戰國に對つた兵器の金の處分などに就て論議を鬪はしてる實に慨歎に堪へないではないか更に危く隣國の情勢は奈何、東洋西洋今や比類なき多事の秋である個々此秋觀兵式に參列して感ずるところが深つた

芳香綺羅に薰ず
外務大臣官邸の大禮奉祝夜會

霞ケ關離宮に於ける外務大臣主催の御即位大禮奉祝大夜會は十六日午後九時より催ふさる電飾の燈々と照り榮ゆる車寄せ内には石井外相夫人と共に來賓を迎へ晴れやかなる花の裝ひせさせ給ふ久邇宮殿下、梨本宮妃殿下、竹田宮兩殿下は御揃ひにて入らせらる、此夜招待を受けたる内外の貴紳二千餘名幾百となく連る綾羅の部室々々には香水の香浮動して宛然百花の吹き亂れたる樂園の如し十時食堂を開き主客共に歡を盡くし宴了れるは月光冷かなる十二時なりき（東京特電）

蜻蛉返り飛行家來らん
米國飛行家ナイルス氏の渡鮮

米國の飛行家ナイルス氏は青山の大練兵場の上空で美事の飛行振りを示し前後左右の蜻蛉返りに觀客に汗を握らせてゐたが其後長崎に赴き飛行を濟ませた上朝鮮にも來ると云ふ何でも一回の飛行料が一千圓とやらだが或は龍山練兵場が鷺梁津の砂ツ原を揚降場として南山の觀客に自然を敲奔する奇觀を見得るに至るかも知れない

浦鹽の大通り燒く
火元は日本人の床屋＝女學生燒死

五日曉三時半頃浦鹽斯德市スヴェツランスカヤ街露國活動寫眞館附近の邦人理髮店より出火したるが折柄烈風吹き荒めることゝて活動寫眞館料理店其他大小店舖を燒失し兩名の露國女學生燒死するなど一時はなかく（の混雜なりしが三時間にて鎭火したり總損害は目下取調中なるも數十萬留に達すべく家屋の保險に附しあるもの六萬留に達し居れりと（浦鹽）

海軍疑獄
舞鶴憲兵隊活動

舞鶴憲兵分隊及び舞鶴警察署は過回聯合大活動を開始したるが過は海軍の疑獄にて御用商人と結託不正行爲あるためなりと（大阪特電）

大檢擧
神戸阿片密輸入

支那革命黨員の阿片密輸入計畫を中心とせる神戸に於ける大檢擧事件に就き十名拘引其内に資産家もありと（大阪特電）

石油噴出
小倉地方の地價が暴騰する

福岡縣小倉市外西北方こと企救村大字北方田中にて井戸浚渫中測らずも純良無比なる石油の湧出するを發見し一朝にして企救平野は一大寶庫と化せるにぞ同地の土地所有者は夢かとばかりその福運に歡喜せるの事實あり初め同地の油端豐太郎といふが村内に宅地を購入し移轉の準備として宅井戸を浚渫したるに井戸水は淡紫色を呈し石油の匂ひあり先地主に交涉に及びし處何者かの惡戯ならんとのことに他の箇所に新井戸を發掘したる處こゝにも同樣石油の如きもの滾々として湧出したれば始めて不審を抱き汲取りたる淡紫色の水に紙捻を浸し點火したるに炎々と燃え付き何等加工をまたずして點火し得る純良石油なるを發見したれば其喜び譬ふるものなく村内隣村より見物に來れる人々と協議の末福岡より技師を招き試驗を請ひたる處果して同地は石油鑛にして礦脈頗る廣きが如しとの事に油端と地續きなる上田一久、岩崎友次郎の三名連署にて下關要塞司令部へ手續きを了し同時に福岡鑛山監督署に向け發掘採取の願出を爲し然るに一方數日前九州電氣軌道會社にて北方道電の爲め電柱建築工事中その附近の田圃中を發掘したるにも此處よりも石油の湧出するを見しその趣を北方巡査派出所に屆出たる由にて同地の土地所有者等は意外の福音に寄々（大阪）協議中なり（門司）

英人鮮人を毆打し訴へらる

忠北槐山郡槐山面邑内英國人ダブリユーエッチラッケット（）が去る十三日鐵道内を巡廻中最近同所附近に雇はれたる金命萬と云ふ人夫が事務所より材木を運搬しつゝあるを認め一應呼び止め取調べんとしたるも言語不通のため呼べども答へず其儘過ぎ行くにぞ此奴曲者なりと氣早のラッケットは早速馳せ寄り鐵拳の如き鐵拳を喰はし擲へ居たる洋杖を以て亂打したるにぞ件の人夫は立腹し同所の駐在所へ訴へ出たるに依り所轄槐山警察署より淸州法院支廳に一件書類を廻付し愈々來る二十日公判廷の筈

内地人の宅を覗つた曲者

今秋以來市内居住の内地人宅に窃盜被害頻々として屆出で多かりしが右は京城若草町九十八番地無職成順五（二）といふ前科三犯の曲者が外一名と共に本年十一月六日以降十二月五日迄に前後二十回に渉り京城市内内地人宅に於て現金指環金時計衣類等を數十點此價格約五百二十圓を窃取して或は僞名して入質し又は贓品を隱匿し賣却し右の金は遊興費に蕩盡し巧に姿を晦まし出沒しゐたりしことを本町署の警官に探知せられ遂に檢擧せられたり被害者左の如し ▲本町三丁目上木▲同四丁目櫻井▲南山町二丁目森本▲同正木▲同山崎▲若草町吉崎▲明治町一丁目片山▲旭町一丁目大阪▲若草町中島▲南山町二丁目西村▲南山町三丁目水瀨▲本町二丁目山本▲大和町一丁目平野▲同中村▲若草町谷山▲南山町岡部▲旭町一丁目山口▲南山町二丁目中村▲同五味▲其他等

新町遊廓に猩紅熱發生す

京城新町朝鮮樓抱娼妓後藤りう（二二）は一兩日前發熱同地娼妓病院入院中の所十七日診斷の結果猩紅熱と判明し早速順化院に入院療養中

夜中家屋倒壞

京城西大門町二丁目二番地京城中學校附近なる朝鮮式建物平家長さ七間の物腐朽の爲か十六日午後九時頃倒壞したるも人畜に異狀なし原因不明なるも同建物は約三百年以前のものなれば多分腐蝕せる結果ならん

南山麓の野火

十六日午後五時頃京城三坂通南山城壁に沿ひたる原野約二百坪を燒失したり原因は多分通行人の煙草の吸殼發火せしものならん損害取調中

個人布教が爲て見たい

肥州高野山三寶院住職柳中僧正坂田鶴仙師は朝鮮に於ける布教狀況視察のため入京山本旅館に滯在中同師を訪へば語る

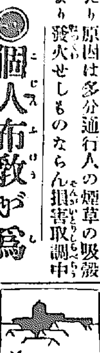
■朝鮮に在住 する人達の容子を見るに何んとなく落つきがない、此處を墳墓の地と定めて永住すると云ふ心持がなく金でも出來たら握つて歸らうと云ふ心持の然らしむるのである、これは畢竟一般に宗教心が乏しい所以である。私は曾て北海道を巡錫した事があるが彼地では相當の地位にあつた人が僻陬の地に引込んで百姓をしてゐる、堅實な考を有つて永住の目的で來る者でなくては周圍の者が相手にしない、仕事をしように世話をする人がない、金を借りようとしても貸す人がない、勢ひ已むを得ずして

■腰を据ゑる 隨つて土著の精神と共に信仰心が起る、北海道の人は土地に寺院教會を設けると言へば双手を擧げて歡迎する、今日朝鮮に來て見るに北海道とは大分違つてゐるのを思はずには居れない、併しながら是まで逐年宗教界の發達して來たのを見れば在住者の思想の變革を見るのも强ち遠いとは思はれない、今後十年を經たならば其處には吾々の期待する精神界の或る傾向が現はれてくると同時に社會的にも確固たる基礎根底が出來てくる事と思ふ

■此の意味に 於いて乾燥しきつて居る朝鮮の空氣を和らげるのは今日よりヨリ以上に在住者の信仰心を向上せしむるに若くはない、斯かる趣旨により私は今回の渡鮮を幸ひ歸山までに數日を割いて京城で個人布教を試みて見たいと思つて居る是迄日本の習慣として坊主が飛び出して仕事をすれば直ぐに喜捨を仰ぐものとばかり思ひ込み矢鱈に敬遠主義を執る者がある、これは以ての外の考へ違ひであると同時に吾々が十分に活動の出來ないのもこれがためである、併し私は飽くまでも此の宿弊と戰つて布教したいと念じてゐる

このくれに 半ねで 買物が出來た方は誰？
ちゞみやの半襟
第一回 當籤日は十二月十六日 依而右日付印ある賣上票引替に一週間以内に於て半額（商品券にて）お戻し可申候
あと 二十七日より二十三日までに一日の 二十四日より三十一日までに一日の 半額日あり
◎當籤漏れの方に相當の景品差上可申候
京城本町二 電話八九〇番

△考昌園より　MY生

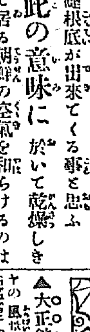


考昌園とは京城府蓬萊町なる曾禰荒助子爵の別墅の名であつて、自然の森林を云ふのであつて、自然の風光に富む園内の松樹が鬱乎として蓊鬱たる有樣から此の町を府蓬萊町と名づけたのである。春は嫩葉の間に躑躅が咲き亂れ夏の新綠は恰も

□水彩畫を見るかの如く□ 秋は紅玉の欸、累々たる松籟、啾く虫聲、共に其の幽寂な味はしめ冬になれば濃き綠色の松が枝一面に白皚々として園を被る美觀を呈する時園に入つて眺むれば赤き校舍の屋根、白き壁、緑りの松！其の四時自然の秀美を獨占して居る。コントラストの眞に絶妙なる、老松翻々と捕ぐが如き樹間より漢江の流一曲して隱見するに至つては皆讃嘆しく

□其の風光秀麗なるに□ 恍惚たらしめぬものはない、又考昌園の林中には日曜々々として眠る數百年前の古墳がある。水はさゝやかなる音をたてゝ渓谷を傳ひ老松は靈藻として深谷を啣く小川の邊、衣を洗ふ鮮婦人の砧聲は遠く木玉にかへして寂寞の氣とみに生ずるあたり時に聞いて廢朽し

□塗られたる朱の色□ 總せて所々缺壞磨滅して居る有樣は一種のうらかなしさを忍ばしめて慈若長へに碑石を包んでゐるのである。此の靜かな園に入りて緩歩すれば堪へ難き感に打たれ萬斛の感、師思油然として湧くするのである

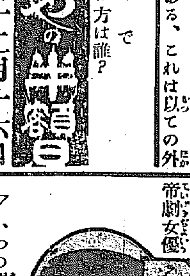


◎仁川の汲古書會　仁川有志家の發起に係る汲古書會は加入申込者非常に多く愈々來る十九日正午より仁川湖町開催し當日は汲古氏及び各書家の揮毫をなす由

▲大正館　十八日より寫眞替へ實寫サアジニヤの風景喜劇見當違ひ、人情劇俠少年全三卷、澤田次郎一派山派新派の五月日記女藤大全三卷新馬鹿ライオンの全三卷なり

▲御成座　十八日の晝興行朝日櫻一番目喜劇玉手箱二場なり

女同志に惚々と
帝劇女優　談



▽いつの間にか炬燵の戀しい時節になりまして、師走と申す言葉は何となく人の心を急き立てますやうで春の支度に忙しいとは申しながら、それでもまた冬の落ちついた心持が感ぜらるゝもので御座います。實際冬くらゐ氣の落ちつく時は御座いません。靜かに暮れた冬の夜に、燈火近く映好き濃化粧の床しさはまた何にも譬へやうが御座いません。

▽冬の夜と申しますと、直にもカラコロと小走に往き交ふ街の色白い女を思ひ出します。われもひとも同じやうに、レート洗粉で洗つた肌へ脂肪質ならば乳白化粧水レートを塗けて脂肪の浮くのを抑へ、荒性ならば不思議なほど肌理を細かに肌を柔軟に肉付豐よかにするクレームレートを擦り込み、斯やうにして調へられました地肌にレートヂエリーを白粉下として附も伸も思ふまゝになり上品な落附の良いお化粧のするレート白粉でお化粧して居りますので生れつき色の白いやうに色白く、その上何とも申されぬ床しい芳香が絶えず薰つて居りまして、女同志に互に振り返へつて惚々と見ますほどで御座います

▽また素質の素顔のやうにも見えそれでも色艶優れた隱化粧を遊ばして居らつしやいますお方は、ほんのり色を白くするレートフードをお用ゐ遊ばすので御座います。此の頃は殿方もレートフードをお召になりますので、男らしいお顏付が愈々活々として見えます。斯やうにレート化粧料さへお用ゐ遊ばせば、身を截るやうな寒風にも肌の荒れることもなく活々とした榮あるお化粧が出來ます。何はともあれレート化粧ほど勝れたものは御座いません。それでこそ、畏くも豫ねて宮内省、皇后宮職、各宮家並に朝鮮李王家の御用命を拜して居ります上に、此の度數ある化粧品の中で唯一つ御大禮御用品たるの光榮に浴しましたので御座います。

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三番 十二月十八日より歳末揭尾の大寫眞 ○實寫サルジニヤの風景 ○伊國パスクワリー會社傑作 ◎泰西人情劇 俠少年（全三卷）△田園の裡に呻吟せる不幸の四人子…△闘看守長の愛孫が一片の腕…△厄さなり昨日に誓ふ…災が血涙に要路ヶ大官…迎えぬ△川活喜劇…新派悲劇 五月日記 女…△夫は病床に臥し…ね後しき妾に何事ぞ…居に就任…で轉た斷腸！…の日ぞ？○市橋新馬鹿ライオンの…尾上松之助 市川延市郎一派出演 舊劇 大前田英五郎（全三卷）

黃金町四丁目 黃金館 電話二六三七 天然色活動寫眞株式會社提供 ●十二月十六日より特撰大寫眞提供 ●實寫エクレア週報 ●滑稽… ●泰西大活劇 第二女ブラウン（全四卷）探偵劇…恐るべき大事件の眞相…●天活會社代表作品 死の第一權三郎（全四卷）…二十五年は生活たが是れから先は… ●例の市川海老十郎大會演出… 容音品は回數券は最も…

本町一丁目 有樂館 電話二六六 十二月十一日より新寫眞提供 ○實寫ボルドカルの風景 ○泰西喜劇… ○泰西寫劇 ○會社最近の撮影おなじみの… ▲舊劇大岡政談 德川天一坊（全五卷） ▲佛國ゴーモン會社作 黑寶珠（全二卷） ▲…したる佐藤紅綠氏の大傑作… 新派大悲劇 ○… の家 ▲米國ヴイタグラフ會社作…オンの嫁 最長尺

御成町 御成座 電話一九一 朝日櫻 村井弦齋先生作 一番目喜劇玉手箱 二場 全十場 …

本町 壽座 電話五七八 十二月十六日より（二日目） 新派誠美團一行 佐藤紅綠氏作 藝題 人の親 全五場 ▲大詰 ▲氏原家… ▲氏原化粧室… ●入場料特等四十錢…

明治町 浪花館 電話二六〇番 新派讀のオーソリチー京山恭爲一行 ▲播州皿屋敷（爲春）▲義烈百傳（二休）▲禪師（圓洲）▲水戸黃門漫遊記（外一席）客樣の御好に依り各大看板の北海行… 御聽覺に供し候（若春）ヤ小僧… 世物語明治の大賊アラビ… 傳内を捕縛の爲め高野早川南刑事… 心讀▲都新聞連載 高崎土産 佐原… 以上三席（京山恭爲講演） 毎日午後六時より開演に不拘…

町 壽館 電話一〇五〇 本年も上演の浪花節… 十六日初日演題 神崎與五郎（浪花軒岳鳳）二休悟道錄（桃中軒雲道）小栗判官（京山愛子）京橋傳助、宇都宮釣天井（長講二席）（京山福壽）

新築御披露

四方の御客樣方特別の御引立を蒙り御贔屓を以て日に隆盛に趣き從來の家屋にては狹隘を感じ候ことゝ錦町に新築中の所此度落成移轉仕候間倍舊の御引立の程伏て奉願候　敬白

忠州錦町　末廣館

仁川の色魔俳優　仁川

濱座に於て興行しゐたる浪花節芝居一座長之助（二）…

近受けし曲者なるが客月上旬頃安東縣にて興行中同地新陽旅館に宿泊中の…

府花平里二百二十番地釜山草梁生れの崔某錦（二）は仁川花町三丁目杉本…

頃本町道路を徘徊しゐるを原田巡査に現認逮捕され十六日檢事分局に送…

後▲頭取扶的和田に推りたる旨英國病院より仁川署に屆出でたるを以…

したるのみなるにも拘らず同日午後八時半頃京城橋南洞布木商大儀喜方…

察署にては管内に於て遺失物の拾得品の屆出でたる分を保管中其保管期限滿了して遺失主不明なる諸口…

天氣　十二月十八日　北又は西の風　一時曇

○日出　七時四十二分　○日沒　五時十七分

…に乘込み…多の婦女をたらして少なからぬ金員を巻き上げたる廉にて退去命令…仁川署に説諭方を願ひ越したりと

●手飼の犬に咬まる 仁川…暗ましゐたるが去る八日午前十一時…窃取逃走し行衛を…

●仁川の… 新花水里金一星(二)が去る十五日午后…恩赦減刑令に浴し十二月六日出獄

●遺失品の賣却 京城本町署

●全羅南北の米穀と出廻

群山は米の山―大農場からはまだ出ぬ―何こしても米の群山だ―木浦の集散未だ少なし

今回は二週間ばかり懸つて群山木浦方面の米穀狀況を視察して來ました實に群山は米の港です群山港では船便の少なきと毎回船腹不足の爲めに同地に出廻つて來る穀物は常に積殘りとなつて現に海岸各倉庫や税關倉庫は是等出廻り米の爲め充滿して素晴しい額に上つて居ります何んでも税關倉庫だけでも

▲十二萬石の玄米が積み込んであると云ふのだから其の盛況思ふべしでありませんか同港へは地方から盛んに籾の出廻りが有つて昨今一日約二三千叺の出廻りがある此の籾は同地で悉く玄米に摺つて各地へ移出されて居るそれで群山には籾摺業所が六七箇處あつて何れも盛んに仕事をして居るが其の中の四箇所はエレベート式の籾摺機を据付け何れも發動機を用ひて居るエレベート式の籾摺器は極めて新式の籾摺機であつて大規模の籾摺りには缺ぐべからざる機械で一臺の据付に約二千六百圓ばかりを要する筈である、同地方に於ける

▲昨今の出廻籾は多く鮮人農家のものであるから何れも十石十五石と云ふ風の小口ものばかりで有樣であるが一朝内地人經營の各農場から盛んに籾の出廻りが始まる日に至れば群山港は實に米で埋まる程の盛況を呈するで有らうと思はれる内地人經營の農場は群山驛より極めて近き場所より一番に連亘して居つて何れも大規模の農場である又裡里附近には廣大なる細川農場を始めさし二三の大農場があり金堤には石川農場外二三の農場があり臺仁には五六の大農場と多くの小農家とがあるが内地人經營の農場からは少くも一二千叺の籾を出し

▲大農場は十萬叺 内外の籾を收穫すると云ふから實に素敵の産額ではあるまいか此等農場の籾の多くは茲一箇月位後になつて出廻りを始めるとのことである全羅北道本年の米作は昨年に比して約二割の減收である群山港への出廻り籾は引續き盛ではあるが昨今米價下げ値の爲めに一般に賣惜みの模樣である同地方の米質は大農場の産出多き爲め米種に混合なく何千石といふ同種の米が一手に取引さるゝのは實に心持の好い事である

▲木浦港の米穀 集散は至つて少く一箇月漸く八九千叺に過ぎないとの事である全北とは異つて全南では米穀檢査所の如きも僅かに木浦の外七箇所を數ふるばかりであつて道内でも輸送の都合上群山又は遠く釜山に輸送されて居る籾も少くない模樣である木浦港は南鮮に於て米穀の集散地でなく現今も將來も綿花の集散地輸移出港であらう市況も餘り振はない樣子であつた(釜山穀物市場理事木下芳三氏談)

●盛んな流氷

結氷期の大同江

大同江の生命は結氷に依つて盡きると言はれて居るが本年も既に結氷期に入つて船人が稼業變へに心忙しい時期となつた兩岸には帶の樣に氷が張つて一度凜烈な寒威が見舞ふたならば全河面を掩はんと時期を窺つて居るかの樣、昨年は已に十三日には結氷して中流の薄氷を渡す

▲暗紫色の水流 が僅かに表面に露はれて居るのみであつたが本年は未だ滔々洋々冬籠りの準備に忙しい薪船は滿帆に風を孕んで上下してゐる大同江は例年結氷當初は綾羅島以北が第一期に稅關下より普通江の注ぎ込む邊りまで第二期に結氷するのであるが萬景臺以南江口迄は上流地方の堅氷が僅に牛馬車の渡渉に堪ふるに至つても中流四分の一哩位ひの間は氷塊が潮流に隨つて流れるのである朝鮮人は一般に冒險的の性質を備へて居るのか兼二浦から對岸の黄海道保津浦の間を結氷中と雖も渡航して居る昨年の如きは既に二十日頃は

▲大氷塊が猛烈 に流動して其の危險甚だしいにも拘らず一人が櫂を取り數人が長い棹で氷塊の間を巧みに操りつゝ渡船をして居た更に二月頃の嚴寒中にも潮時を見計つて往復して居たが神經の過敏な内地人は只見る丈けでも戰慄を禁じ得ない程である江口方面の河幅の廣い處は一哩以上に達するが全河面は大氷塊がギシギシと漂ふ然も蕭條たる原野を襲ふて來る凄まじい風が江面に吹き捲くる時は之等の氷塊は風の方向に從つて或は黄海道沿岸に或は平安南道方面にふきつけられる、其れが氣まぐれた風伯の飜弄のまゝに時々刻々と變化するのであるから其の偉觀は言語に盡し難い程である如斯結氷期間中は氷塊の流動が凄まじいから

▲大同江の舟運 は中止の止むなきに至るか避島水道は更に此の危險を増す相である上流地方から盛んに押し流れる氷塊は急に四分の一哩に滿ない狹水道に猛烈な勢を以て流れ込む爲め氷塊は相衝つて粉碎し忽ち氷の山を築いて兩岸に打ち寄せる木葉舟の如きは此の氷塊の一擊の下に一たまりも無く顚覆されるのである然し江口から鐵島附近迄の水深は僅に一萬噸内外の船舶は上下し得るのみならず結氷期中と雖も風も無い相であるから堅牢なる船舶を以てすれば結氷期中と雖も大同江の舟運には從事し得らるゝのである

●清州雜信

堀分隊長の榮轉 清州憲兵分隊長中尉堀武夫氏は十四日附を以て鏡城憲兵隊副官を命ぜられ不日赴任の筈なり後任としては鏡城憲兵隊分隊長金田中尉任ぜられ是又不日着任の筈なり ▲助産婦科生募集 清州慈惠醫院にては明年二月一日より速成助産婦科生の養成を開始する由毎年比較的好成績を擧つゝあるにより今回も應募者非常に多かるべしとのことなるが人員八名(內五名給費生)なれば志望者は履歷書を添へ一月二十五日迄に申出づべしと因に內鮮人を問はず品行方正にて尋常小學校卒業以上の學力ある二十歲以上のものに限る由 ▲聯合大賣出し 清州各商店は例年の通り昨十五日より一齊に聯合大賣出しを開始し店頭には聯合加盟の幟を押し立て新年用商品を飾り立てたれば市中も頗に活況を呈し各店とも昨年に比し賣行き非常に良き趣きにて景品引換所には一等二本白米三俵宛以下山なす景品を飾り立てられ賣出し初日より頗る殷盛を呈しつゝあり本年の最幸運兒は果して誰ぞや

●元山より

明太輸送振はず 元山大豆の出廻り盛期に入る

▲咸鏡線工事進捗 咸鏡線の文川永興間の工事は近來寒氣加はりたるにも拘らず著々進捗しつゝあり既に豫定以上の進行を見たる由なれば從つて之が開通期も早まるべく今後工事上に支障を來さゞれば來年七月頃には高原の開通を見、八九月頃に於て永興間の開通を見るを得べしと當事者は語れり

▲出稼人歸來尠し 例年冬季に入れると共に浦鹽及び間島方面に於ける出稼鮮支人は大部分同地を引き揚げ元山を經て歸鄕するもの多きも本年は例年に比し非常なる少數にて元山を通過せる山東方面の出稼支那人は僅かに二三團體に過ぎざる有樣なるが本月中旬に至り寒氣遽かに加はりたる爲め下旬より舊節季に歸り來る者の增加を見るに至るべし

▲明太輸送振はず 元山驛に於ける明太魚の輸送は例年頗る盛況を極め居れるが今年は最近に於て僅かに五十噸以內の輸送ありしのみにて前年同期に比すれば二百噸以上の減少なり而して前記の分は悉く江原道沿岸より廻著發送されしものにて之れが本場たるべき以北各沿海に於ける漁業狀態極めて不振なりと

▲元山大豆の出荷 元山大豆は近來文川驛を經て續々出荷しつゝあり、文川驛に於ける大豆取扱高を聞くに出廻り期節に入りて以來前月末迄に既に五百噸以上の發送を見たりしも十二月に入りては上旬に於て早くも發送高四百噸に達せんとする盛況を呈せり尙性欄々奧地よりの出荷を繼續しつゝあれば今期に於ける同驛發送高は莫大なる額に達すべしと

▲咸西沿線の植樹 目下咸興炭礦會社の手にて敷設中なる咸興西湖津間の輕便鐵道は年內に工事を竣はり來春匆々營業を開始する換定なるが同會社は今回其沿線の美觀を添ふる爲め線路の兩側に植樹を行ふべく咸南道廳に對しポプラ一萬本、アカシヤ五千八百本を下附申請中の

高尙な御贈答品

京城 シノサキ本店

京城 シノサキ支店

●連絡船上陸客 十六日午前入港高麗丸一二等客 一等(三名)福井友輔、同とめ、白井三郎 二等(十二名)石野すみ、眞中圭一、江幡直、奧田鋭太郎、庄野熊久藏、吉井忠次郎、村上久次郎、飯田幸吉、西藤幸作、同中忠四郎、竹內愼治、吉田喜作三郎(不明六十三名) 十六日午後入港弘濟丸一二等客 一等(二名)藤川ふさ、佐々木春男、二等(十名)萩原きし、宮岡金藏、原田楠治、八島政子、長富一之助、細川喜三郎、木元與市郎、後藤勝七、內藤六郎、佐藤正巳、三浦六十名)

商況

東京株式特電

十五日 前場寄付 大引

銘柄	前場寄付	大引
日本郵船	―	―
日韓瓦斯	―	―
朝鮮紡織	―	―
同新	―	―
東株第一	―	―
東新第二	―	―
日本醬油	―	―
東株第二	―	―
東株第二	―	―

債券現物特電

十七日川米値段(前日との比較) 東京

銘柄	値段
東洋拓殖	―
日韓瓦斯	―
朝鮮瓦斯	―
朝鮮銀行	―
南滿鐵道	―

公債直取引

十七日川米値段(前日との比較) 東京

銘柄	値段
五分利	―
四分利	―
甲	―
二四分	―

深川在米特電

十七日現在高 內地米 朝鮮米 [illegible]

東京期米特電

十七日前場 寄付 高値 安値 止め [illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

十六日前場 十二月限 一月限 二月限 三月限 四月限 五月限 [illegible]

大阪期米特電

十七日前場 當限寄付 中限寄付 先限寄付 一四、二九 一四、五五 一四、八五 [illegible]

下關期米特電

十七日前場(佐伯碼頭米) 當限 高付 安値 止め [illegible]

朝鮮物産特電

群山改良 群山大豆 論山改良 木浦改良 同難改良 [illegible]

雜報

●製粉相場弱含み

●三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 電話長三二、七三 電信略號(巴)又(三)

▲出穀果して如何 [illegible]

▲徐々引締 [illegible]

▲春高を見越せる農家の賣惜 [illegible]

▲際尙一段の下値 [illegible]

▲反動人氣は此 [illegible]

●パラピン漸騰 [illegible]

▲十六圓五十錢尙賣躊躇 [illegible]

●石油値上げ [illegible]

▲十錢の値上 [illegible]

下關相場

[illegible]

田中金兵衛

電話長一五二八番 二六番

各地商況

▲木浦(十五日の穀物) [illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻米

水原白米	一七六叺	金村白米	四七叺
烏山白米	五三叺	大邱胡麻	二八叺
烏山白米	七五叺	伊院白米	五八叺
烏山籾	三四叺	東豆川雜	一六叺
一山白米	一六叺	天安籾	四四叺
天安白米	一三九叺	定州糯	四〇叺
小井里籾	一九八叺	水原籾	四八叺
水原白米	一六二叺	仁川白米	三九叺
平澤白米	二四七叺		

仁川現物市場

△籾入荷約千七八百叺 氣配變らざる模樣 △正米出盛行はれず 閑散變る振り合なきも午前中△大豆入荷約三千五百叺 氣配保合の人氣

仁川期米

▲十七日前場 四錢安の入電 大阪前寄十四 [illegible]

▲依然薄商內 [illegible]

行貿仲買店

仁川海岸町三 電話長九二二番 [illegible]

市場零聞

▲前場の商戰 [illegible]

▲依然動かず [illegible]

▲正米界連日の好況 [illegible]

▲喰に新規に買物多し [illegible]

▲餅搗相場なき乎 [illegible]

▲無事平穩の納會を告げるには非ざるなき乎 [illegible]

▲仁川在米に就き [illegible]

▲此內十一月限受取米 [illegible]

▲殘一萬五千餘叺に過ぎぬ [illegible]

▲期米前途觀 [illegible]

▲京城正米 [illegible]

▲大勢の轉換に一陽來復の氣運に向ふ [illegible]

▲期米の昨今 昨今の期米は形勢甚だ面白からず此例に依る一瞬一落の餅搗波瀾狸に漸崩次第安なるにあらざるかとの觀測なきにあらざるも又正米界の現狀より見て此方針一轉反發に傾ける者は向分安の成行きを見…[illegible]

▲東北成行賣多し [illegible]

仁川米豆取引所

十七日の二月限 前場 [illegible]

平均値段 一節 二節 三節 四節 五節	[illegible]
一月限 二月限	[illegible]
出來	[illegible]

北濱だより

▲船株尙買氣旺盛 [illegible]

▲堂島米株 [illegible]

開館披露

當館儀今般大正館と特約の上愈々十七日より開館致候間何卒倍舊の御愛顧御來覽の程偏に奉希上候

日本活動寫眞株式會社特約 仁川 瓢館

K.O. BON BON

MALZEXTRACT-HUSTEN BONBON

タンセキになやめる人々

セキドメ ボンボン

"ボンボンでクラクラ" よれちせ

和光堂

▲効力確實なる爲め醫家に賞讃せらる ▲旨き味菓子より老人小兒方に喜ばれ ▲携帶に便なる爲め旅行用事務家に愛せらる

定價 小箱 大箱 二十五錢

木綿 羅紗 厚司卸問屋

◎遠近多少に不拘迅速出荷可仕候

酒道具 香口式 大勉强

仁川港宮町 (大)富澤商店 電話三三六番

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店

京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店

資本金 五百萬圓 頭取 安田善三郎

株式會社 百三十銀行 京城支店 京城本町壹丁目

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

最上醬油

京城本町三丁目 田中支店釀造 電話七六四番

眼科專門 京城本町六丁目(元軍司令部通り) 金井眼科醫院 院長 金井豐七

越後大評定

第七十六席　早川貞水口演

奥方の諫言

茲に小栗美作は心中いと殘念に思ひ、當時一萬八千石、築地二丁目に別格を以て住ゐ居る、町屋敷へ御歸りになつたが、美作の顏の色が勝れぬから、奥方お勘殿が 勘『今日は嘸かし御疲れ、御上屋敷の御祝宴は如何で御座いました 美『イヤ何事もない 勘『大層御顏の色が御惡いやうに存じますが 美『イヤ別段のこともないが、少と工合が惡いで、御暇をして戻つた 勘『それでは御醫者樣を…… 美『イヤ〳〵醫者には及ばぬ、其

方には用事もない故、御退りなさい 勘『ハイ』お勘殿も、美作の容子を御覧になると眉間の疵、是は仔細あり、と御心配なれど、次室へ退れとの仰せであるから『然らば御免』と云つて次室へ退られたもの丶、何うした事かと思つてお居でなさると、膝に手を置いて美作、涙をハラ〳〵と流し 美『吾心を盡して主家を守護し奉らんと心得居つたるにも拘らず今日明石但馬守無禮の御一言、御列席の前にて、主家横領とは、情けなきことなり、彼の滿座の中にて面部を破られ、恥辱を受けたる此上からは最早是非に及ばぬ、この所に於て切腹いたして相果るの外はない、切腹して相果たる其後には、必ず共に我素志は、明石殿御承知になるであらう』と今は覺期の體で御坐いまして愈々小刀を以て切腹に及ばんとなしたる時に、お勘殿次の室から勘『暫く御待ち遊ばせ』と良人美作の手に縋り『何故あつての此御生害、仔細の程を何卒御聽かされたく、妾承り、御最期あつても然るべしと思へば、決して御止め申しは致しませぬ一通り仰せ聽けられたる後にて、御切腹あそばしても、遲きことは豈夫御坐いますまい、サア何事なるか、御話し下さい』緊乎と其手に取付いたる時に『實は今日、御上屋敷御祝宴の御席上にて明石但馬守より恥辱を受け、面部を破られたる事の仔細は斯樣云々』お勘殿御聽き遊ばし『誠に御殘念御察し申上げます、然れども今此處で死すると云ふは、それは小さき御心かと、憚りながら存じます、今良人が御當家御家老職に在ればこそ明石殿に御頭も上りますまい、けれども此方は一萬八千石、その八千石を御公儀へ御返上あそばし殘一萬石にて徳川家へ御歸參を願ひましたならば、小身と雖も天下の諸侯、明石殿と御同席なさいましても何の氣兼も憚りも御坐いますまい、今當家に在つて、臣下の列に御居でなされぱこそ、斯樣な恥辱も御受け遊ばす譯、御切腹に及ばぬに依り、此儀御計ひ然るべきかと存じます』女ながらも大丈夫で御坐いますから頻に御勸めになる、美作も若へて『イヤ實に道理な次第、近頃乃公思慮淺くして、是に心付かざりし汗顏の至り、然らば早速その儀、取計らうであらう 勘『サア〳〵其やうに爲さるが宜しう御坐います 美『それに付いては、幸ひ當時御大老、酒井雅樂頭忠世殿、御用人勅使河原六右衛門と云ふ者、日頃大懇意の交情なれば、此者の手を以て、御大老の方を繕ひ貰ふたならば、公儀の方は何の仔細も御坐るまい』

寫眞

寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版

最も熟練せる技術を以て最も迅速に勉強と叮嚀親切を旨とし御高需に副ひ應じ候

京城日報社　寫眞製版部

十二月十九日九星　舊十一月十三日　甲申　本命三碧　東　成　大安

[illegible]

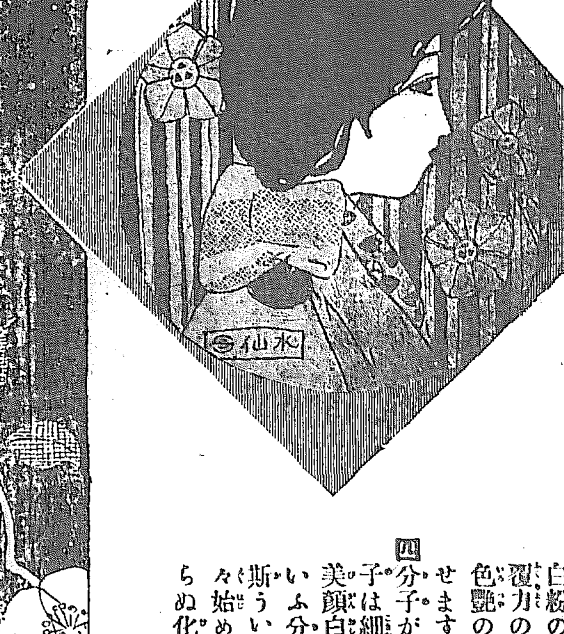
瀨戸皮膚科外科醫院

旭町二丁目（舊三丁目）

醫學士　瀨戸潔

（電話二四九八番）

診察夜九時まで



宮內省御買上品

學者の創製したる

純無鉛

美顏白粉（びがんおしろい）

生れつき色が白いやうな白さに附く譯

一　從來の白粉より遙に色が白いからですごんな白粉とでも比べて見れば分りますが、同じ白粉と言つても、美顏白粉ほど色の白い白粉はありません。

二　極めて美しい光澤があるからです。既にほんとうの白さがある處へ、此美しい光澤が加はるのですから、美顏白粉のお化粧の色艶は、態とらしい色艶でなく、眞に迫つた色艶が出るのです。

三　被覆力が特に強いからです。被覆力が弱いと白粉のノリやノビも惡く、殊に白粉の色艶を充分に現しませんが、被覆力の強い美顏白粉は、其眞に迫つた色艶の美しさを、其儘お化粧顏に現させます。

四　分子が極めて細いからです。白粉の分子は細い程ムラが無く附くものですが美顏白粉の原料には確に是以上無いといふ分子の細い原料が使つてありますが斯ういふ次第で、美顏白粉は高貴の方々始め、上中流御家庭にゼヒ無くてならぬ化粧料と言はれて居りますのです

■名譽の美顏白粉を創製したる

桃谷研究試驗部

顧問　丹波藥學博士　山本醫學博士

專任　桃谷藥學士　小磯藥學士　齋藤藥學士

2575,381

東京　桃谷順天館　大阪

朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城

振替貯金口座　京城三三三番

電話　一三三一、三三三二、六一二二、一一〇六、一二六〇、一二六一、一六一三

支店出張所　東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春

右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

物品購買公告

一、大麥　五千九百貫
一、大豆　三千二百貫

此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上

右各別ニ入札ニ附ス供給請負希望ノ者ハ本府庶務係ニ就キ入札人心得書契約書案仕樣書見本等熟覽ノ上十二月二十二日午後二時限リ本府庶務係ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當ス

大正四年十二月十五日　京城府

於大阪明治拓殖博覽會名譽金牌受領

陸軍御用達

最上醬油

芳香風味　滿鮮逸品

釀造元　平壤　宮川商店

振替京城七〇四　長電　[illegible]

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
秀吉丸　十二月　日後四時出帆
君が代丸　十二月　日後四時出帆
土佐丸　十二月　日後四時出帆
神海丸　十二月　日後四時出帆
大代丸　十二月　日後四時出帆
第二有太湖丸　十二月　日後五時出帆

仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○外國航路（近海航路を除く）船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
温州丸　十二月　日　午後五時出帆
須磨丸　十二月十九日
漢城丸　十二月廿二日

×木浦、釜山、長崎行▲は鹽原湖の浦に寄港
安東丸　十二月廿四日　午後二時出帆
▲城津丸　十二月十八日

×○鎭南浦、大連行
安東丸　十二月二十日　午後二時出帆
城津丸　十二月廿八日

×◎鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
濟州丸　十二月　日　正午出

◎大阪直行
天佑丸　十二月十七日後五時出

○群山、釜山、横濱行
△千珠丸　十二月二十日　午後四時出帆
△チョイサン丸　十二月卅日

○大連直行
△千珠丸　十二月　日　正午出帆
△チョイサン丸　十二月廿四日

○淸津、浦潮行（元山出帆）▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
地久丸　十二月十八日
▲宮丸　十二月廿八日　午後三時出帆
▲大智丸　十二月　日

○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
北湖丸　十二月廿九日　午前十時出帆
新高丸　十二月十七日

○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前迄御乘船相成度候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二番、二二〇番、五五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七八〇番
中國四國沿岸各港行旅客に對し當分の間門司より下關迄は無料で連絡渡船切符仕候

共同汽船仁川出帆

○阿波國共同汽船會社各港行
第一共同丸　十二月十七日午後二時　十二月十九日前九時出
大連、芝罘、大邱行
安東丸
城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）と同港連絡にて通し貨物取扱可仕候
第一鳳鶴丸（元山出帆）　十二月　日　午後九時出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸　十二月二十日　前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目（電話一〇八番）
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行
立神丸　十二月廿一日後五時出帆
○元山淸津浦鹽行
立神丸　十二月卅日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行
小倉丸　一月　四日後五時出
○元山、城津、浦鹽行
小倉丸　十二月廿三日後十時出
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸　十二月廿一日後九時出
○門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸　一月　一日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸　毎月二日九日十六日廿三日廿一日午後十時出帆
釜山府本町一丁目　本船取扱店　大池回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行
相模丸　十二月廿七日　正午出帆
西砂丸　十二月十八日　正午出帆
竹島丸　一月三日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船

本社　電話長一九五二番三三三番

京城南大門驛前　京城荷客取次店　松原運送店（電話一一三番）

鐵道及社外船と聯絡運輸のあり、支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願候

全羅丸　一月　三日
京畿丸　十二月廿四日
黃海丸　十二月廿八日
成鏡丸　十二月十八日　釜山發
仁川より釜山各港寄港經由ことに

穩城丸　十二月十九日
昌平丸　十二月廿三日
鏡城丸　十二月廿五日　元山發
元山より各港經由咸鏡行

平壤丸　十二月　日　元山發
忠淸丸　十二月廿二日　元山發
城津、淸津、浦鹽行復航釜山經由門司

永興丸　毎月廿八回　元山發
北久味、五與浦行　又は長崎延長

嘉島丸　十二月十八日　釜山發
甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行

江陵丸
襄陽丸　毎日　（浦項）釜山發
長生浦、方魚津寄港

三浦丸　十二月廿二日　釜山發
長承浦、巨濟、統營、麗水、濟州島各港行

海州丸、巨濟丸、統營丸、慶寶丸　三日目毎日　釜山發
各港經由麗水行（三日目一回木浦行）

順天丸　十二月廿三日　木浦發
各港經由麗水行鹽水より釜山行に

慶興丸　十二月廿三日　木浦發
一、各港經由濟州島行（四回）

公州丸　十二月廿二日　木浦發
南多島海列島行（月三回）

公州丸　十二月十八日　木浦發
一、各港經由濟州島行（第二）

宗信丸　十二月廿四日　仁川發
海州經由各港經由、鎭南浦行

江原丸　十二月十七日　仁川發
芝罘、大連、青島行

麗水丸、晉州丸　十二月廿一日　仁川發
各港經由木浦行

全州丸、南陽丸　毎日午前　仁川發
江華島、喬桐島、海州行

平安丸　十二月十九日　群山發
十二月廿七日　若松發
往航　大黑山、木浦、門司、若松行
復航　門司、木浦、群山行

京城日報
十八日朝刊
（第二千九百七十六號）
本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾錢 郵税共一ヶ月金七拾五錢 郵送に限り三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月三圓七拾錢 ▲郵券代用二割増
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲記事欄内一行金壹圓貳拾錢 ▲案内指定所一行金壹圓五拾錢 ▲三號活字の一行は二號活字同斷 ▲六號活字の一行は五號活字同樣
發行兼編輯人 真田直太郎
印刷人 松口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯局長三四五番 營業局三二二六番 一二二四番 振替貯金口座京城三〇〇番

京城日報　東歐と聯合軍

驍然獨墺軍塞爾維に殺到し、勃牙利軍之に應じて起つや、數旬ならずして塞國の全土は敵の蹂躙する所となり、英佛聯合軍希臘サロニカに上陸したれども、未だ之を救ふに及ばずして、却て敵の壓迫を受け、其前進軍隊は今方に總退却中なりと云ふ。或は云ふ、聯合軍は遂に巴爾幹より撤退す可しと、或は云ふ、英佛二國政府は共同一致して巴爾幹にて獨墺と決戰するの議を定めたりと、世說區々未だ何れが眞なりやを知る能はず。

吾人嘗て歐洲戰役の大體を案じて英佛聯合軍にしてダルダネルス海峽を速かに攻取せざるときは、其不利と危險と殆ど測るべからざることを力說したることあり、且最も露西亞の英佛聯合軍と相策應せざるを不可なりとし、三國政府に向て其顧省を促がしたり、然るに吾人の忠告は何國にも容れられずして、海峽の聯合軍荏苒日を送るの間、巴爾幹諸國は皆獨墺側に傾き、天下皆英國の樂籠中の物と爲したる希臘すら、聯合軍に加擔せず、塞國全土敵軍の爲めに席卷し去らるゝに至る、吾人は只殘念至極と言ふの外なきなり。

英露伊三國嘗て倫敦宣言を發して單獨講和を爲さゞることを聲明す、既にして我が日本及び伊太利も亦之に加盟したるを以て、今や宛然日本及び英露佛伊の五國同盟の姿を成し、英佛諸國は飽まで此戰爭を長引かすことを主張し居るを以て、當分平和回復の望みなしと覺悟せざるべからず、且聯合軍にして、一歩一歩獨墺軍を困迫し、其據りて立つところを失はしむるあらば、敵は自ら屈して和を乞ふの外なかるべしと雖も、今日のところ佛國は其八千方哩の地を敵に委し、露國は其二千五百萬の人口を容るゝの地を獨墺軍の蹂躙に任かす上に、今又巴爾幹を擧げて敵手に落つ、白耳義其國土を失ふて未だ之を恢復する能はざるに加へて、新たに塞爾維の其國土を失へるあり、英佛露諸國に男兒漢ある限り、此まゝ媾和は思も寄らず、假令獨墺二國を攻め亡ぼすを得ざるまでも、英佛露諸國が其國民的面目を全ふし、得るだけの勝利を占むるまでは、戰爭を持續せざるべからざるや論なきなり。

世間皆英露諸國の實力猶旺盛にして、獨墺二國の困難甚だしきを知る、然れども巴爾幹を擧げて獨墺に委し、只獨墺をして其力を東歐に伸ばさしめたることは、たしかに糧を敵に與ふるものなり、獨逸墺洪國より巴爾幹諸國を連ねて、一大經濟圈を形くるときは、其自給自足の道自ら存すべくして、若しダニューブ河と黑海とを利用し、及び紅海地中海を窺はしむるがごとくは、是等即ち封豕長蛇を養ふものに異ならずして是れが爲に少くとも幾日月間、戰爭を長引かしむるの結果となるべし、夫れ此度の戰爭は世界的大戰役たり既に世界的大戰役といふ、其長引くべきは固より其處にして、一年二年は言ふに足らず、三年五年に連なるも亦已を得ざる所にして、關係國民皆相當の覺悟なかるべからず、戰爭は戰鬪者と非戰鬪者とを問はず、其危險と艱苦とを相分たざるべからずして、此間に處するの道は、只勤勉力行各々能く其實力を養ふにありて存す、我日本は刻下鐵火の事に從はずと雖も、亦是等交戰國の一たり、我國民たるもの戰局の長引くべき形勢を見て、益々發奮努力する所なかるべからず。

朝鮮の先史民族

八木奘三郎

（四）石器を前世界の物とす

前世界の語は世の地質學者も往々之を用ゆること有り、然れども此語は古く耶蘇教典中に記載せらる、故に此教義を遵奉せし歐洲に於ては古來大洪水以前の代を純然たる前世界なりと信せしなり、去れども科學の發達は滔々として大洪水の狂瀾怒濤よりも烈しく其結果は今日宗教上の趣旨を根底より覆へせしが、其未だ強盛を致さゞりし頃、即ち過去百餘年程以前に於て佛國にブシエード、ペルトなるもの有り、偶ま一の地層中に數個の石器を得るが、其の解釋に苦しみしも、確に人工に出ることを認めて遂に大洪水以前の人類使用物なりと斷定せり、此說は當時宗教家の激烈なる反對を受けしも爾來石器の採收者、又は研究家は獨り學者間にのみ止まらずして宗教家の間にも亦其人を生じ、一方世界說に從へる器物たることを證明し得るに至れり、而して日本に於ても天明の昔、即ち約百三十年以前近江に木內石亭なるもの有り、大に奇石を愛し、越後、飛驒其他の弄石家と互に氣脈を通じ、諸國の山野を跋涉して數多の奇石を集めしが、是等の中には石器の類數種有り、又同志間の地方各異るが爲に其發見區域も割合に廣かりしが如し、今其著書、若くは圖錄等を見るに大抵之を神代物と記せり、斯は一方に於て歐洲の前世界說に似たれども、其實日本に於いては古鏡、曲玉、金環、刀劍等所謂古墳時代の遺物は皆な神代物と稱し、此語を古代の代名詞に使用せし形迹有り、故に人爲物と見たるは明かにて、假りに之を神代紀時代と見るも、其器物は諾冊兩尊以後に當るが普通なれば其神武帝以下に連續し居ることは皆な承知の上にて斯く記載せるなり、去れば前條の天降說とは大なる徑庭有り、尋で本居宣長の如きは神武記の御歌なるイシツツイを以て石器に當てたれば當時は石器を以て古代の人工物と認め居たること最早疑ふ可からず、而して朝鮮に於ては共進會の出品物に瓢檳の衡斧と記せしもの有るを以て、最近に至りては古書に據つて北方蠻夷の品たることを知れるに似たり、斯く世界に於て石器が太古民族の使用品たることを覺知せしは僅々百年內外に過ぎざれども、其採集と研究とを主とせしは近年に防り、就中朝鮮の如きは吾人同好者數名に過ぎざれば、此種の知識は殆んど暗黑界に葬られ居るの觀有り、然れども朝鮮の石器時代遺跡には東洋唯一の斯事例有り、加ふるに其民族の解釋如何は東亞史上に大關係有り、又日本の先史住民とも多少の連絡有るに似たり、去れば其研究の結果は高麗の華と歎はるゝ青白磁の價値に優り、又三國時代の交涉史よりも遙に興味深し、故に以下其遺跡遺物の略を說て、次に其民族を論せんと欲す。

新春の京城日報

我社は大正五年一月一日歳の改まると共に更に大活動を開始し專心紙面の改良發展に力を致し面目一新以て讀者に見えんとす

新年號七十頁

大正五年の本紙が如何に面目を一新して讀者に見ゆるかは之を新年號に於て試驗せられんことを望む、紙數實に七十頁敢て紙幅の巨大を以て誇らんとするものにあらず其質の雄大健實華麗を以て半島大新聞の權威を示さんとす。記事に於て材料に於て寫眞繪畫に於て編輯法に於て正に是れ新聞界に一新紀元を劃するものなるを確信す

電報欄の擴張

從來と雖も內外各地の電報の多きは本紙の特色とせる處なりしも大正五年より一層電報欄擴張の必要を感じ內外各地に特派員通信員を增置し電報料を吝まず特殊の材料頻發の事件悉くと之を急電に依りて報知せしむる事となせり乞ふ刮目して新春以後の本紙を見よ

△議會覗き△

東京支局　一記者

十四日の質問戰に政友會が內々首相をイヂメの作戰を企てゝゐたことは缺席勝の原御大將が頰杖を突いて納まつてゐたので頷かれる▲政友會の匹田鋭吉君が地方青年團體の爲めに大氣焰を吐くこと約二十五分、高田文相『何れ書面を以てお答へ致します』といふや引續き議長『其答辯書は唯今到着致しましたから朗讀致させます』は人笑はせ▲果然元田肇君は自家の質問に對する答辯を求むべく首相の出席を促がした▲容易に出て來まいと思ひの外、病老の首相は例の松葉杖に縋りながらヨチ〳〵と現はれた、平凡なる議場は急に緊張する▲着席間もなく壇上に進み出づべく餘儀なくされた首相は『仰せの通り簡明に御答へを致します』と答辯控書をハラリと擴げ、兩手を後ろに組んで元田君の方に向き開き直つて少時く睥睨する▲『政黨の離合反覆—選切もあれば買收もある』と首相が疾呼すると與黨の面々無暗と嬉しがつて一切り盛んな拍手を送る▲元田君も茲を先途と大車輪になつて『大義名分を棄つてまでも留任するか』と叱咤すると▲首相何んと思つてか俄かに眼鏡を掛けて控書をソハクサと擴げ始める▲高橋法制局長官答辯の下書に鉛筆を持ち添て首相の顎の下で囁くと『うむ、うむ』と其を携へた首相壇上で眼鏡を掛けて答辯しながら『ノー〳〵』と言つても議場には答辯の限りに非ず』と所謂館がある▲元田君に交代した松田源治君『大隈伯の辯明があればある程我々は了解に苦む』と激しく卓を叩き續け右白臉を首相の前に突出して讓はしたり『陛下輔弼の責任を盡さゞる不臣不忠の行爲』と首相の前に幾度か右腕を突出しては其の顏の下から仰ぎ上げる▲『そんな質問があるかこら』と綾部惣兵衞君酷く憤慨すると『御靜肅に、、、』と彌次本家の佐々木安五郞君議長の音色を使うて滿場を笑はせる▲其隣席の伊東知也君『惣兵衞默れ』と一喝するのに促された樣に鳩山一郞君卓を叩き續けると『鳩山が机を叩いてゐます議長』と與黨から聲が掛る宛ら小學校の教場の騷擾▲『松田君は餘程憲法學者の樣に見えるが閣捨ならぬ大問題である』と壇上の首相が大袈裟に出で『國務大臣の責任は陛下に對する責任だ、反對があるか、反對があるかッ』と念を押した末に『此の上は感情問題だよ』と輕く匙を著けやうとしたので『大隈伯の違法論に絕對は間違つてゐることを斷言します』と松田君自席から叫んで名札の頭を右の拳で毆り倒す▲首相が却々答辯に起たぬので『答辯がありませぬか出來ませんか』等と小久保君頻に焦燥したが首相の撞木杖に續いて尾崎法相以下の諸大臣が退場して仕舞つたので惜しき幕切れとなつた

日報歌壇

栗北選

千萬の我がこの思ひ一言の短き文字になすよしもがな
よそに見し昨日もありきしかすがに今日の優曇花を君はしらずや
いたづらに饗はれたる性なるか逆らふ事を習慣とせる
いつとなく失せにし人の戀しさに日も夜もあらで冬ばらを嗅ぐ
いねがての小夜其の衿のしとる迄冷たき息よ雪來るらしも
酒の氣をほのかにたてゝ外の面より入り來し人の肩の薄雪
ささめし四十路女のほゝゑみに似て詫しかり落葉の月は

日報俳壇

雉子郞選

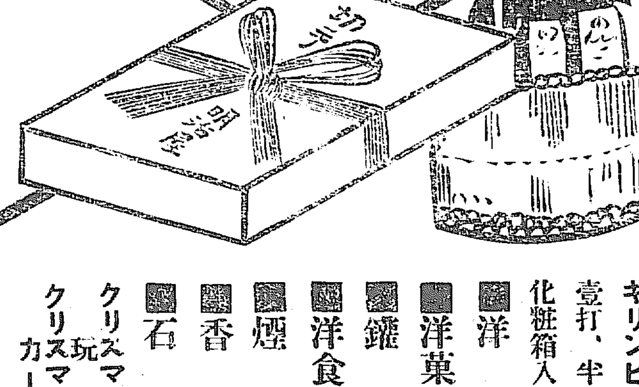
立冬

親しめば醫藥効なし今朝の冬　韭城
婢に媚びて呉服屋卑し今朝の冬　羊兒
兵舍かくる樹に風鳴りて冬に入る　如泥子
山かけに石の黑さや冬に入る　蘆中子

初冬

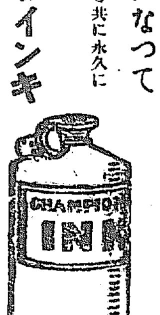
初冬や旅趁ふて荷商へる　東村
初冬や鑛山去る衆に居たむ　同
初冬や瞑つ眼逃れし鳥翅る　同
初冬の門鎖し兵の執る箒　橙黃子
初冬の椽にやゝ伸ぶ樹影哉　同
初冬の日晴れ門川浣紗かな　宵屑
初冬や鐵管積みし廣き街　鐵巢
初冬や醫師には秘して灸すゆる　容堂
初冬や家畜定めんと子の建議　韭城
空家のみの中の我家や冬初　山民
初冬に死燒く土の廢殘かな　雁川
氣荒む子が振舞や冬初　北星
初冬の雨に灯明し時計店　羊兒
初冬や花壇廢れて庭狹し　樂葉
初冬や婢を嫁がすに親心　雉子郞
初冬や門摒れし朝鮮門　同

クリスマスプレゼントと
年末御歳暮の
御用は
是非京城の
明治屋へ
電話 二二二番 一七三三番
地方よりの御注文に對しては荷造注意直ちに御送附可申上候

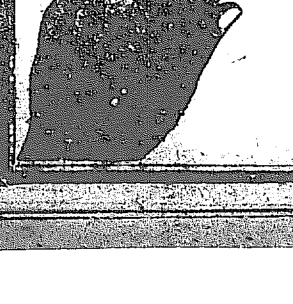


キリンビール 壹打、半打
化粧箱入
■洋酒
■洋菓子
■鑵詰
■洋食品
■煙草
■香水
■石鹸
クリスマス玩具
クリスマスカード

御使用になつて
其色澤は年と共に永久に鮮麗を極む
東洋一のインキ
チャムピオン・ライト・アカデミー



到る處の文房具店にあり
關西一手賣元 大阪市東區平野町二丁目 福井商店



撞球界の泰斗 玉乃一熊著
菊判上製三百餘頁 總クロース美裝函入
撞球指南
定價壹圓五拾錢 □郵稅本社負擔□
著者玉乃氏は球界の泰斗にして吾球界の爲に貢獻する所多大なるは、苟もキユウーを手にする者にして之を知らざるものなき所也。我國斯技の今日の如く發達せるは一に實に氏の賜といふべし。而して今日斯界に有名なる田村、鈴木、友石等の一流の諸選手、皆氏の教を受けざる者なし。就中數年來歐米各國を往來して世界的大選手の稱號を擅ひつゝある彼の山田浩二氏（本書には山田氏の序文あり）は現時世界の如き、最も永く玉乃氏の薰陶を受けたる一人なり。而して山田氏のマッセーが、歐米選手多しと雖も、第一と稱せらるゝ所以のものは、氏の曾て玉乃氏に就き斯技の蘊奧を究めしに因らずんばあらず。蓋し玉乃氏の右に出づる者なかるべし。氏今本書に於て斯技の蘊奧を吐露す。書中說く所、氏が二十年來研究せる撞球の理論と方法に就て細大漏す所なし。本書は初學者を導く懇切叮嚀實に斯技の楷梯なり、斯技の秘訣を披瀝せる、而して推理論斷、亦實に選手に對する指南車たり。初學者は之によりて斯技の速成を期すべく、後學者は之によりて十年難解の疑團を氷解すべきなり。實に是れ球界空前の大名著なり。
大取次所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

第三版

下關期米

大阪期米特電（十六日）
後場當限寄付十四圓三十四錢△中限寄付十四圓

▲本日の現物界
六十錢七十錢八十錢 ... 四圓八十錢五圓五四

十七日の二月限

十二月限 五千石

會朝鮮部長スミス氏の『理想の教會』『余は何故に宣教師として日本に來りし乎』の諸演ある由

第三十七回帝國議會

貴族院（十七日）

貴族院は十七日午前十時開議諸般の報告あり終つて日程に入る

一、華族世襲財産法律案 △大隈首相 登壇現行法は時勢の進運に伴はず宮内大臣亦改正の必要を認め前期議會にも提出したるものなるも會期短かき爲め決議に至らざりしと説明するや

△目賀田男爵 質問ありとて登壇(一)現行法は何れの點が時勢に適せざるや(二)現行法には親族會議の決議を認め改正法に之れを省きたる理由如何(三)華族の保護に對する政府の所見如何と質せしに首相は席より現行法は保護の主旨を以て制定されたるも其の目的を達せず故に現行法を簡にし多少の變通を得て不便を除かんとするにありと辯明す目賀田男首相の答辯要領を得ず尾崎法相の所説を聞かんと矛を轉じ次で

△尾崎法相 登壇本大臣の説明と首相の説明と何等異る所なしと述べたるに目賀田男は何故今少し詳細の説明を爲さゞるやと迫り次で林博太郎伯尾崎三良男石渡敏一氏と法相との間に押問答あり尾崎男の發議にて議長指命の五名の委員附托となる

一、電氣事業中改正法律案 △柳原義光伯（委員長）登壇委員會は審議の結果全會一致原案を可決せりと報告し第二三讀會を開き可決確定

一、郵便爲替法中改正法律案 △徳川圀順侯（委員長）登壇爲替支拂期限を六十日に一定するに全會一致可決したる旨を報告し坂本彰之助氏の質問に對し委員長答辯し坂本氏更に當局の説明を求め遞相の答辯ありて讀會省略可決す

一、大正四年田租第一期分延納に關する法律案 △前田利爲侯（委員長）登壇本案は田租第一期納期を六月十五日迄に延期せんとするものにしてこれを以つて米價調節を爲さんとするには極めて不充分なるも爲さゞるに勝る主旨を以て全會一致可決せりと報告し水野錬太郎氏の質問に對し委員長將來納期の改正を促し置けりと答へ橋本圭三郎氏の質問あり更に △高木兼寛男 は延納を許可する結果世間の食糧に缺乏を來す虞れなきやと質したるに藏相は萬々左ることなしと答へ第二、三讀會を開き異議なく可決確定し十一時五十分散會したり（東京特電）

◎彈劾演説と彈劾案

政友國民兩黨主催の大隈内閣彈劾演説會は十八日午後一時より歌舞伎座に於て開催に決したるが當日衆議院に於ては内閣彈劾案及び大場茂馬氏の大隈首相並に尾崎法相彈劾案の議事を聽くべく院の内外相呼應して未曾有の活況を呈するに至るべし（東京特電）

◎下院各派交涉會

十七日午前十時衆議院議長室に於て同院各派交涉會を開き島田議長より十八日の本會議は彈劾案の附議あるを以て特に午前十時より開議したき旨諮りたるも政、國兩派は之を拒絶し又十六日未了のまゝ散會せる佐々木安五郎氏の『日本及日本人』禁止號轉載の件は二十一日の本會議に附議することゝ爲れり（東京特電）

◎大場氏の脱會

公友倶樂部の大場茂馬氏は部員の勸告を聽かず首相並に尾崎法相彈劾案を提出の爲め十七日朝同倶樂部を脱會したり（東京特電）

◎帝政實行回答曖昧
陸總長、曹汝霖の回答矛盾す

日置公使は支那政府に對し帝政實行の期日を質し且つ歐洲戰亂終局まで延期しては如何との意見を述べたるに陸總長は帝政實行は種々準備を要し相當の日數を要すと答へ又曹汝霖は若し治安にして維持し得らるれば何時帝政を實行するも差支なかるべしと答へたり（北京電報）

東京發別電

は破竹の勢を以て挨攻攻擊に著手ず 箇國公使に對し當國の態度宣明の通牒 列車にて赴任の途に就けり停車場 つあり素晴らしき [illegible] 按使は爲に吏僚を [illegible] に贊成するものあらざるべしと外間

◎前清皇室と袁總統

北京來電に依れば十六日付にて前清皇室は袁總統皇帝たるに贊成袁總統は(一)優待條件を永久に變更せず將來憲法制定の際は記入すること(二)倫貝子を參政院長に任すること(三)立法院を迅速に籌備し來年内に招集することを宣布す（東京特電）

歐洲大戰亂

▲米墺外交關係危機
ア號擊沈事件―墺國の回答

華盛頓來電に曰くアムステルダム來電として非公式の發表に依ればアンコナ號に關する墺國政府の回答なるものは米國の全然不滿足とする所にして米墺の外交關係は爲めに斷絶せんとしつゝあり（紐育電報）

△別報 アンコナ號事件に關し米國閣議は各員悉く大統領の態度を贊助し若し米國の要求にして墺國の容るゝ所と爲らずんば米墺外交關係は斷絶せざるべからずと云ふに一致せり（華盛頓電報）

▲希國融和

雅典來電に依れば目下諸般の情況に於て協商側に有利にて協商側と希臘との關係は逐日改善せられ希臘皇帝コンスタンチン陛下は露帝命名祝日に臨席すべく勃國公使ソボッデンは希臘領内に侵入せざる可きを宣揚したる公文書を發表したり希臘は今や聯合軍に對し廣大なる區域内に於て自由行動を許諾し東部マゼドニヤに駐屯せる希臘軍隊を西部に轉送したり（東京特電）

▲英帥新任

ヘイグ將軍はフレンチ將軍の後を繼ぎて佛國及びフランダースに於ける英軍總司令官に任命せられたり（紐育電報）

▲フ元帥の轉任

在佛國英軍總司令官フレンチ元帥辭職しレサート、グラスヘーグ將軍其の後を襲ぎたりフレンチ元帥は新職に敍せられ英國軍司令官となれり（倫敦電報）

◎三大將異動 發表

十七日午前十時宮中に於て首相代理岡陸相、鷹司侍從長参列の上左の通り任免ありたり（東京特電）

陸軍參謀總長陸軍大將 長谷川好道
免本職

教育總監軍事參議官陸軍大將男爵 上原勇作
免本職並兼職補參謀總長

軍事參議官陸軍大將 一ノ戸兵衛
免本職補教育總監兼軍事參議官

◎大藏證券發行

大藏省は十二月二十日總額二千萬圓の大藏證券を割引日歩九厘大正五年二月二十五日償還の條件にて發行することに決したり（東京特電）

◎總督山公訪問

寺内總督は十七日午前八時山縣公を小田原の古稀庵に訪問し會談の後午後歸京したり（東京特電）

◎副醫官任命

十七日左の通り任命發表ありたり（東京特電）

陸軍一等軍醫 北風四郎
任朝鮮總督府醫院副醫官（六等）

雜報

◎葉煙草の産額
本年産葉の品質

葉煙草耕作並に收納狀況視察の爲め主要産地に出張せる岡田技師の歸來談に曰はく、本年の葉煙草は金化耕作組合を除くの外は何れの倉庫も非常に多量の取引を爲し得る見込なり之れ全たく地方廳の盡力に依りて煙草倉庫事業の精神が耕作者間に遺憾なく徹底したる結果なるが殊に近來事業に對し同地方の憲兵隊が直間接に多大の援助を與へられつゝあるは吾人の感謝に堪へざる處なり、而して各倉庫に於ける本年産葉煙草の品質を見るに本年は耕作期に際し雨量甚だ潤澤なりし爲め葉面擴大したる割合に肉附薄きより其味概して淡白にして輕味なるもの多く又本年は一體に氣候遲れたる關係より煙草の晩熟せる傾向あるを以て擬拔けの惡しきもの多し、而して産額如何といふに本年は各地とも耕作面積を增加したる而已ならず、一定面積内の收穫量目に於ても雨量潤澤なりし爲め平年に比し鮮からざる增加の模樣あり要するに本年産の葉煙草は製造業者に取りては極めて使用し易き利益ある可しと云ふ

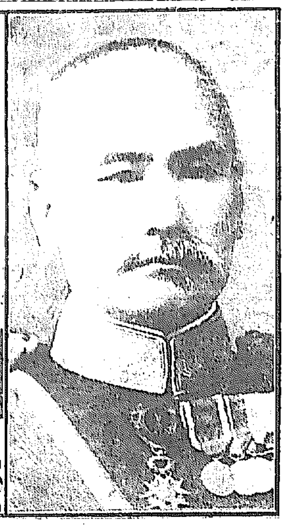
◎副會頭問題

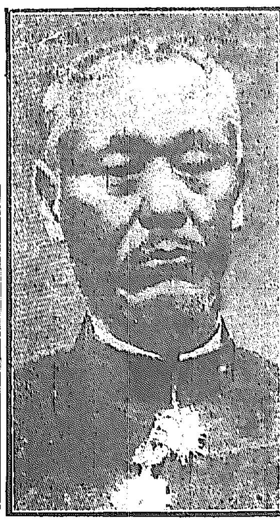
候補者は西村、岡の兩氏

京城商業會議所第一回總會は既記の如く來る二十日午後二時より會議所樓上に於て開會さるゝ筈なるが同日第一號議案として提出さる可き正副會頭の選擧の内會頭は從來の關係上原田金之祐氏滿場一致を以て當選す可く唯剩す所は副會頭二名の人選なるが鮮人側は趙鎭泰氏選に入る可く内地人側は當選期日迄は關繁太郎、釘本藤次郎兩氏に決定す可きものと内定し居たるも突然岡、西村兩氏の割込となり較ひ前後四人の候補者らしき評議員を數ふるに至りたる次第なり今日迄會議所の役員中正副會頭の人選は總會前にありて大體各議員の意嚮を纏め其々候補者を豫定し置き、で總會の當日は單に形式的に投票を行ふか又は其際選ばれて假議長たる議員より指名するか又は議員中の有志によりて何々氏を滿場一致にて會頭又は副會頭に推擧したしと動議を提出するを例とし居れば無論本年も頗る圓滿の裡に當選す可きは疑を容れず而して目下有力なる候補者として目され居るは西村岡の兩氏なるが既に兩氏並に各議員間との交渉を整ひ兩氏の中何れかに確定し居れりと云ふ者もあり

◎協贊會決算期

京城協贊會の收支決算報告は既に全部完成したれば商議員會を開催して之れが承認を經べき手順になり居れり是れを以て協贊會は本年を以て諸般の完了を見て存在せざるに至る筈なるが目下吉原會長及び原田理事東上不在中故何れ兩氏の歸京を待つて商議員會を開催す可しと言へば二十日後なるべきが今該收支決算大體を聞くに收入總額は十三萬餘圓にして即ち入場料收入二萬二千圓寄附金七萬六千圓御下賜金並に補助金二萬圓此他雜收入一萬二千餘圓あり支出は總額十二萬七千餘圓にして即ち重なるものは電燈料の二萬五千餘圓演藝館賃借料の九千餘圓を初めとして以上の額に達する次第なるが差引き約三千餘圓の剩餘金を生じ目下之れが處分方法につき研究中なり





前參謀總長 陸軍大將元帥長谷川好道子　新任參謀總長 陸軍大將上原勇作男　新任教育總監 陸軍大將一ノ戸兵衛氏

◎關釜連絡船延著

關釜連絡船は海上風波のため十七日夜釜山に入港せず從つて十八日朝市内に配達さる可き各種郵便物は同夜九時南大門著の列車にて到著す可しと

評議員歴訪記(一)

西村道彦氏談

商業會議所と私との因縁を强ゐて辿つて見ようならば四日市の商業會議所に特別議員となつて關係して居た位であらう、京城商業會議所創立の際は創立委員として推され今亦擧られて第一期の議員として擧げられたと云ふことは非常な光榮とする所である、と同時に此革新された會議所に議員たる吾々の責任も重大と云はねばならぬ、特に今日迄内地人の其れと又は朝鮮人の其れと並立して居た會議所が一心同體となつて所期の目的を貫徹しようとするのであるからそこには努力も奮鬪も必要なのは云ふ迄もあるまいされば云つて目下匆々の際これと云ふ程の成算もないが兎に角内鮮人間の商工取引關係が商業會議所と云ふ一種の調和劑に依つて圓滑になると云ふことは斷言して差支はなからう又それが今回會議所の設立された目的の一なのである只だ此際朝鮮人中より出た評議員の尠ないことは内鮮人別評議員定數の算出方法が京城府の營業税納額を基礎として行はれたものであるからして是に由て朝鮮人が如何に納税の義務に伴ふ有力なる權利の附帶せるものであるかを切實に感得したことゝ思ふ要するに法規上有力なる保護を得て商工業の發展を促進しようとするのであるからして前途は頗る多幸と云ふ可である

天日常次郎氏談

何んと云ても先立つものは『金』である、是れ迄の會議所だからとて種々な調査も計畫も立てられぬ譯ではなかつたが肝腎な費用の一段になると丶丶と行詰つたものであつたが今回設立された商業會議所は法人としての能力を確保せられ課金の强制權も得たのであるからして今後商業に關して積極的な各種の事業が出來ると思ふ之れに議員たる者も從來の如く有名無實の樣なものでなく默々の裡にも遣らう、遣らねばならぬと一種の緊張した氣分が漲つて居る、只今朝の貴紙の石塚氏の談にも見えし如く一級有權者中より多數の評議員を得なかつた一事は多少遺憾であるが幸にも岡、西村兩氏の如き新顏も加はつたことであれば與へられたる能力を利用して十二分に商工業の發達に貢獻したいと考へて居る、尙ほ更に總督は五名の議員を擧げて會議に列せしむると云ふことであつて然かも其人選は京城第一流の官民有力者を以てすと云ふことであるから非常に有力な調査研究が漸を追うて發表されそれに依つて一般會員を指導誘掖するの任務が盡せるであらう、鮮人議員數の少なるため議事の進行に多少懸念する者あるも其邊は自ら各自の常識で判斷し行く可きものであつて徒に杞憂するは無用であらう

■印度に向ひ申候

大谷光瑞

十二月十二日上海

拜啓 小生又々漸滯の特色を發揮し本日出發之れより南行印度に向ひ申候引續き拙稿御覽に入れ申候自今新聞並に書面はポンベイ横濱正金銀行支店長五十嵐氏氣附に願上候乍恐時下嚴寒の候御自愛專一に願上候草々

公告

左ノ不動產ヲ左記ノ日時ニ於テ競賣ニ附ス競賣保證金ハ申出額ノ十分ノ一

京城地方法院

◎京城府昌信洞八十八番地 ◎垈五十三坪 最低競賣價額金二十八圓也
右競賣申立人 山本貫語
不動產所有者 洪春代

◎京城府林町四十一番地 ◎垈三十一坪 最低競賣價額金百三十九圓五十錢也
右地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪十三坪五合七勺 最低競賣價額金二十四圓四十錢也
右競賣申立人 柳海永
不動產所有者 金昣基

◎京城府中林洞二十番地 ◎垈二十九坪 最低競賣價額金七十圓也
右地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪十三坪六合五勺 最低競賣價額金二十二圓也
右競賣申立人 金在元
不動產所有者 車成根

◎京城府仁寺洞二百三十六番地 ◎垈十五坪 最低競賣價額金百十五圓也
右地上に建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪十一坪一合八勺五才 最低競賣價額金五十五圓也
右競賣申立人 朴逸炳
不動產所有者 盧潤根

◎京城府積善洞五十一番地 ◎垈百二坪 最低競賣價額金七百五十圓也
右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪三十五坪二合八勺 最低競賣價額金百五十圓也
右競賣申立人 東京建物株式會社
不動產所有者 中村立太郎

◎京城府敦義洞百四十六番地 ◎垈三十六坪 最低競賣價額金二百三十圓也
右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪十七坪二合三勺五才 最低競賣價額金九十圓也
右競賣申立人 李舜寅
不動產所有者 李聖憲

◎京城府天然洞五十番地 ◎垈二十坪 最低競賣價額金五十四圓也
右地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪八坪八合七勺 最低競賣價額金十二圓也
右競賣申立人 横井喜代松
不動產所有者 姜周燦

◎京城府桂洞百十三番地 ◎垈二十三坪 最低競賣價額金百四十九圓五十錢也
右地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪八坪七合二勺五才 附屬木造草葺平家建一棟 建坪二十一坪 最低競賣價額金二十五圓五十錢也
右競賣申立人 鄭興陳
不動產所有者 柳定鈺

◎京城府蓮池洞四番地ノ二 ◎垈五十七坪 最低競賣價額金百五十四圓也
右地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪十一坪七合七勺八才 最低競賣價額金十二圓五十錢也
右競賣申立人 吳[illegible]
不動產所有者 張錫[illegible]

◎京城府西大門町二丁目十四番地 ◎垈四十七坪 最低競賣價額金四百九圓也
右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪二十三坪六合四勺五才 最低競賣價額金百五十三圓七十錢也
右競賣申立人 富來祥
不動產所有者 洪鍾燦

右競賣期日ハ大正四年十二月二十一日午前十時トス

十二月十八日ヨリ第五回定時總會終了迄株券名義書換ヲ停止ス
株式會社 京城葬儀社

京日案内

◎普通 一回前金三十錢（[illegible]）

◎祝餅賃搗 搗餅は壽舘前の乃木餅屋に限る 電話二七五二番 乃木餅屋

◎外交員數名募集 履歴書携帶來談あれ委細面談 京城若草町一〇六 朝鮮商業社

◎被雇度 齡廿六歳内地中學卒業 校球算簿記習所卒俸給額を不問 京城壽町三四番地近江屋方

◎番外 一回前金六十錢

内科 兒科 專門 胃腸病 呼吸器病 山田醫院 （入院隨意） 京城本町二丁目壽町元中島病院跡 電話二八八

恩給 年金無保險地方在住者他擔保信用貸 低利長期立換 京城南大門外 成町 山口屋

恩給 年金抵利即時立替 御望みの方へは特に御相談に應ず 京城永樂町一〇四 總督府商品陳列舘前 江州屋

内科 胃腸病科 專門 石川淳 京城本町一丁目 電話三三番

はねつき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場

質 京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入） 堀佐營業所 電話六三

開始 物を使用し懇切迅速に御相談に應ず 葬儀具料金低廉 若草町七〇 電話取次二七二六 一葬儀社

結核及古疾の注射（入院隨意） 京城南山町三丁目 松岡醫院 電話六七五番

新案 實用 堅牢椅子 洋家具 製造業 松浦出張所 黃金町二長橋通角 電話

贈答品 味のよい玄武燒栗 京城旭町一丁目 元祖玄武堂 電話一五一七 くり券を發行いたします

開始 人力車帳場 人夫請負引越荷物其他御依賴に應 京城永樂町二 電話二六八九 岡本組

▲パン 品質の優越せるは目方の豊富なるは相川パン屋に限る 太平通二丁目 電話一一八九番へ御掛下さい

公債 株式 諸株式 大阪野村徳七代理店 京城本町二丁目 電話長九九三番 田中吉友商店

◎洋馬具 ◎靴並に類 ◎ズック製品 ◎革具其他 製造販賣 京城明治町二丁目 古賀商店 電話一八三三

茶代廢止 宿料なし 東京市芝區愛宕町二丁目 旅館 月見館 電話芝一八六 閑靜清潔交通便利

▲聯合軍全滅す 巴爾幹半島における聯合軍は殆んど全滅し獨軍[illegible]

▲陸總長の回答 北京來電に據れば陸外交總長は日英露佛伊五[illegible]

▲松井大使赴任 新任駐佛大使松井慶四郎氏は十七日午前東京驛[illegible]

[illegible]表に於て十三日元旦を奉り[illegible]四日北京の文武奏任官以上は悉く總[illegible]盛大なる提灯行列を行はんとしつ[illegible]帝政の實施が又復大增税の賦課を催成すべしと悲觀するもの多く[illegible]もしなければ實際に於て帝政の實施[illegible]

[illegible]北京政府は[illegible]の各行政區都統に左の事項調査方を電命したり[illegible]北の窮民を[illegible]を擧ぐる筈にて窮民は退伍兵と[illegible]

寒風の朝——京城三阪通所見

●手輕な上品な室內裝飾

家庭の裝飾は何う致しませう？

クリスマスとお正月が來ます

クリスマスやお正月が近づいて來ました家庭や學校で色々な小會大會がしばしば催される事でせうからその簡單な室內裝飾の仕方を申ませう

▼室を飾る には金紙銀紙又は五色の紙を種々幾何學上の正しい形に切る必要が起ります圓や六角や角などに作り易いが少し異つたものになると仲々面倒ですそれを器械なしで手輕く作る方をお話しませう

▼楕圓の切方 圓い鉛力鑵のやうな圓柱體に紙を巻くやうにして其上からコンパスで圓を描くと下が平面でないから擴げると楕圓が出得ます、一つ出來たらばそれを模型にして幾つでも作れば宜しい

▼五角と星形 細長い紙を平たく細結びにして結び餘りの兩端を切れば直ぐ出來ます、紙の巾が廣い程角が大きくなります星形は細結びの一端を折り曲げて陽か燈火に透して見ると、立派な形が見えますから、それに外の紙をあてゝ切ります

▼銀菱繋ぎ 細長い銀紙を縱に半分に折つて左右から交る〲に鋏を入れて之を擴げ上端と下端とを持つて輕く引きますと美しい瓔珞が出來ます夜會の時など光輝閃閃として人目を奪ふ事でせう

▼美し蠟の花 コップに水を入れて其上から蠟燭の火を斜にして蠟を落す、それが水に觸れると直ぐ谷の百合のやうな鐘狀の花が出來ます、針金を温めて之を突きさし是を澤山枝のやうに順々に合はすと面白い花の枝が出來ます、花の大小は蠟燭と水面との距離によります

▼落花生飾り 落花生を紅白黄緑の紙の兩端を房の樣に切つて其中に包み紐で聯ねて掛け渡します、會の終りに子供達に別けてやると喜びます

▼次は蔦鎖り 蔦の葉の先に孔を明けて次の葉を葉柄を通じて引つかける、其を長くつなぎます、紅葉したのと緑のと交る〲にすると綺麗です、雛菊などをつなぎ合したのも美しいです

▼豆の珍額面 まづ額にする板の後に出來上つてから吊せる樣に裝置をして置きます、それから現はすべき畫又は字の紙に書いたのを糊でべた付に貼りつけます、畫や繪はなるだけ荒い方が宜しい細かいと、細工がむづかしくお負けに引立ちません、次には紙の上に糊を滿へ置き其上に豆を並べます、黒い處には黒豆、白い處には白豆、赤には小豆とそれぞれ使ひ分けます地は木の葉、粳殼、赤白靑の綿か屑綿が宜しい、次ぎには縁ですが額の引立つと立たないとは縁の仕方一つです、一番好いのは木の葉です、地に用ふるのよりも少々荒く小枝のまゝ用ひ又所々に花を點ずるのも妙でせう、此小枝を打つけるには下駄に用ふるし字形の鋲に限りますそつと打たないと中の豆が飛び出します、要するに額面製造の秘訣は、原畫も細工も荒いが好い、油繪の樣に遠くから見て立派なやうにせねばならぬ配色に注意を拂はねばならぬのは無論ですが、畫と地との際をハッキリさせぬと手際わるく見える、それから糊を惜んではならぬ、糯米の粉で少し固めに作つたのを豆と豆の間から滲み出る位に付けぬと折角出來上つた時に豆が落ちて終ふ事がありす、豆の代りに花を用ゐれば又美しいものが出來ます

●革命賃金八十錢

騙り集めた三百人の傭夫

一體鄭鎭守使は驍將長大智略縱横世凱の股肱として無二の好將軍で鄭が上海に鎭守使として在る間は革命黨員は如何に術策を施しても到底成功は覺束ないとは一般の觀測であつた革命黨側では是れは充分に承知して居るから先づ鄭を倒して而して後徐に事を擧ようと計畫してゐたらしいそこで第一の目的たる

■鄭鎭守使の暗殺 は首尾能く決行し次で第二の目的を敢行すべく着々と歩を進めて居た然るに鄭の後任として北京から赴任して來た楊善德は新任日猶ほ淺く部下の將卒から鄭前鎭守使程の人望もなく革命黨に取つては實に渡りに船である折しも十二日に至つて上海一帶に軍夫が勞銀問題から同盟罷業を企て各所に集合して不穩の模樣があつたので陳其美以下の頭目は

■奇貨措くべしと 一日一人八十錢の割合で味方に引入れ之を傭兵と爲すべく一夜の中に約三百餘名を騙り集めたので其中の一部を軍艦に他の一部を警察に向はしめたが上海の警察は機器局を距る纔四町許りの地點に在つて勿論何等の防備なく之を奪取することは朝飯前と見て取つた革命黨の一部は海上から砲擊を開始すると同時に右の警察を攻擊したが什麽したものか總勢約二百四十名もあるべき筈の一味徒黨が實際警察署を襲擊した時には

■僅かに三十餘名 に過ぎなかつたので警察側では不意の攻擊に一時は狼狽したが相手の小勢なのを見て忽ち元氣付き猛烈に銃火を浴せ懸けたので革命黨は散々に敗北し中十六名は捕虜となり他の十二三名は逍遁した斯樣な有樣で革命黨の機器局攻擊は遂に實行する事能ず一時彼等に占領されたなど、傳へられたのは全くの誤聞で又陳其美が自ら出馬して奮闘した形跡もない尤も各地に潛在する革命黨は

■六箇所で一時に 烽火を擧ぐると云ふ計畫であつたらしかつたが肝腎の上海の形勢が振はなかつた爲何れも起す了ひに終つたと云ふのが最も事實らしい軍艦奪取の如きも肇和との交渉は未だ充分に行届いてゐなかつたと云ふから戰鬪中にして永翔から肇和に向つて發砲するやうな譯になつたのであつた思ふに今回の動亂は天の時地の利人の和其何れも得て居ない

■支那各地は豐稔 で百姓が皆喜悅し亂を厭ふの念盛んであるが上海は最近北軍を以て嚴重に固められて居るし反覆常なき廣東將軍龍濟光は袁に反感を有つてゐる南京將軍馮國璋なども袁世凱に反旗を飜さうと云ふ氣もなさゝうであるから假令革命黨の蜂起は今後と雖も覺束なからうと思はれる（某支那通談）

●日本赤十字社員の光榮

英國皇帝陛下より勳章を賜はる

英國兩陛下はバッキンガム宮殿に於て日本赤十字救護班員四名を引見し懇厚なる御挨拶あり鈴木次郎、尾島常也兩ドクトルにコンパンション、オブ、マイケル、エンド、ジョージ勳章を山本しげを、岡きよ兩看護婦に第一ローヤル赤十字章を授與されたり（倫敦電報）

●西の海西に廻つて正大關か

大錦は東の正大關＝春場所新番附豫想

地方巡業中の各組合は來る二十日歸京する梅ケ谷西の海一行を最先に廿二三日頃までには全部歸京する筈である、そこで第一の問題になるのは何んな番附が出來るかといふ事である、昔は

▲部屋の系統 に重きを置いてゐたが近頃は編成の都合上から殆ど度外視して隨分思ひ切つた遣繰をするから豫想がつかぬが有力な好角家の間に唱へらるゝところによると新番附には大變動あるものゝ如く東では梅ケ谷が隱退し正大關

▲西の海は西 に廻り大錦が小結から一躍これに代つて正大關となり前場所西に廻つた朝潮が張出大關の儀で東に復し筆頭の對馬洋は兩國に代つて關脇となり西方の小結

▲綾川は東の 小結に移り栃木山は筆頭に兩國は二枚目となる外九州山、若木山等の出羽の部屋力士は東方の要位を占め尙ほ同部屋の

▲朝綠は入幕 して荒岩四五枚目のところに据わる可く西方は太刀山鳳の兩横綱と西の海の正大關伊勢の濱の張出大關で東の張出小結玉手山は西に復歸して關脇となり

▲大蛇潟小結 となる可く小錦、鶴渡川、陣立、綠島等が陷落する代りに寒玉子、逆鉾、源氏山、宮城山が入幕するといふ事であるさうしてこんな番附の出來た

▲內實の事情 は夏場所前に太刀山等が協會に十三箇條の新提案をした以來西と太刀が接近して來たので西は出羽の海に嫌はれたのと出羽の海門下に

▲大錦、栃木山 等の大關力士が輩出してモウ彼を手なづけて置く必要がなくなつた爲であるが表面の理由として傳ふる所は五月場所限り

▲隱退する事 に決してゐるので其前に彼を張出に左遷するのは氣の毒であると彼を西に廻せば門下の源氏山逆鉾等の有望力士が西方に入幕し

▲東西の權衡 を得る事が出來るといふのにあるとの事であるより秘密の番附であるから果して、噂の通りのものであるか否かは判らぬが若し事實とすれば從來よりは稍面白い顔觸れが見られる譯で土俵の上は却つて華々しい事であらう（通信）

●學校建設に

金七萬圓を提供した中村氏

嘗て物集博士の窮困中に三萬圓の巨金を寄贈して博士の辭書編纂事業に同情した鎭南浦の中村精七郎氏は其後又復御大典記念事業として金七萬圓を提供し同地に一大實業學校を創設したいと目論中で何しろ近頃の人氣男であるが氏は去る十二日夜鎭南浦朝日館に同地官民有志百餘名を招待して一大忘年會を開き當夜は非常な盛會であつた就中朝日館では同館の老妓お歳、米吉、政治などから若い所で静子、權半連に至るまで腕によりかけて抱腹絶倒の喜劇一幕を演じたのも大喝采であつたが次に坐敷の中に一人の見馴れぬ老妓が居るので誰かと訊けば『妾は馬關のお千代だす』との返事、さては下關名物のお千代かと一同驚なからず興を添へて居る處へ又復現れたのが京城の如き株式助、加代を始め若手の政彌などが馳せ參じたので一同これは〲と許り大恐悅であつた相な（鎭南浦通信）

●元山にて汽船の新造!!

元山澤中造船所にて新造中なりし新甫警察署の警備船鶴丸は今回竣工を告げたるを以て隈部咸南警務部長は十七日午前十時多數の官民を招待し盛んなる進水式を擧行せり因に元山にて汽船を新造せしは之れを以て嚆矢とす（元山特電）

●妻を殺して河中に投込む

咸南豊山郡熊耳面榆岩里農金乘運（三一）は十月六日夜自宅にて妻の金運春に對し共に就寢せんことを求めたるに同女は夕刻乘連及び夫の母より家事上の事より叱責せられたるを銜み夫の言に對し勝手に寢よと素氣なく口答へしたるより大に激怒し有合せたる木皮製の細を同女の頸に巻きつけ室內を引摺り廻したるに連春は殺せ〲と叫びしより一層嚴しく懲戒を加へんと力を罩めて絞めつけたる爲め遂に窒息死に至らしめたり然るに其罪跡を隱蔽せん爲め同夜其屍體を同里を流るゝ熊耳江口に攜へ行きて投棄したること發覺し十二月四日咸興地方法院に於て懲役十年の判決となりたるを京城覆審法院に控訴申立たり

懸賞募集 新年文藝

課題 ▲短歌 新年 ▲和歌 寄國祝 ▲俳句 門松 一人一句限 ▲川柳 かるた ▲俗謠 松の内 ▲「もの」は付け 日出度ものは ▲一口噺 新年に因めるもの

〆切 十二月二十日 用紙 端書又は同型の用紙 注意 各種別に別用紙に認むること、表面に京城日報社編輯局內懸賞新年文藝係と記すこと。

賞品 ▲一等（一名）一圓 ▲二等（三名）五十錢宛 ▲三等（三名）三十錢宛（但し本社代理部相當商品切符贈呈）

●高陽郡の小火

十七日午後零時二十分頃京城市外高陽郡漢芝面新洞里三統十二戶鹿秋仁方より出火したるより常備義勇及元方より十里消防隊等驅付け消火に努めたるより一棟燒失したるのみにて同零時半鎭火す原因温突焚跡の不始末より傍らの枯草に燃え移りたるものなり損害額未詳

●光熙町の出火

十七日午後二時十分京城光熙町一丁目二百五十七番地金物商李書俊方より出火南山町黄金町等の常備消防出動半燒一戶にて同二時半鎭火原因取調中

●番犬を飼へ

直ぐに役立つ

毎年師走になると強盜の跋扈するので世人一般之が豫防法には苦心するのであるが其の中最も有力な豫防法として番犬の飼養が行はれてゐる然るに普通番犬として賣買されてゐるものゝ外は役に立たぬかと云ふに左樣では無い如何なる種類の犬でも幼き時分からの訓練次第では立派に番犬の役に立つ其訓練法と云ふても別段六箇しい事は無く先づ食事の時間を一定し晝は鎖で繋ぎ置き夜は解いて放するやうな習慣をつけるのである幼い時分から放し飼にばかり仕つけられた犬は偶さか鎖で繋がれるとなソン〲悲鳴を擧げて止めぬそこで今度それを放して遣ると肝腎の番備の時間には何處へか外出すると云ふ風で更に駄目だ、之は是非拘束して馴らすと同時に犬の最も嗜める菓子などの中へホミカ丁幾のやうな苦い藥を入れた物を他人の手で與へ之を繰返すと犬は遂に苦き經驗に懲りて決して他の人の與れた物を喰はぬやうになるから強盜がいくら食物で手なづけんとするも其手には乘らぬやうになる、こんな風にして訓練された犬ならば番犬として充分功を擧げる事が出來る態々高い金を出して番犬を買ふには及ばない

●島屋商店賣出し 北米倉町同店販賣部にては毎年末贈答品賣出しなし多大の好評を博し來れるが本年も例年通り賣出を開始し特に同店の誇りとせる過般共進會に於て名譽ある受賞をせし白瓜奈良漬、桶詰を始め其他化粧品等最も輕便にして且つ經濟的のものなれば贈答品としては蓋し好適品なるべし

▲中村再造君が痔症で苦しんで居ると聞いた山口太兵衛君は中村君に忠告して▲痔なんかは放つて置いても治るものだ▲僕も三四年前出たことがあるが豚の油を塗つたら全治した樣だから君も一つ塗り給へ▲意外にお手輕な治療法だと早速塗つて見たが一向効目がない到々道回和田ドクトルの執刀で切開した▲中村君憮然として曰く『矢張餅は餅屋だわい』▲例の人類學者の鳥居龍藏氏は過般公州附近の鳳凰山で石器時代の住民の古墳を發掘したが▲古墳は長方形の石で疊んであつたがその裡からは一つの石劍と石鏃とが現れて非常な學術上の參考となつた▲石器時代の墳墓を發見したといふのは實に世界の學術上の研究にも大切なものであるといふ

文學士寺田精一先生監修
一月號
トモダチ
每月一回一日發行 ▽一冊十錢 ▽半年[illegible]
▽幼ない御子樣方のトモダチとして大好評の面白い綺麗な爲になる教育繪雜誌
▽附錄には美しい新案大雙六を添へあり
發行所 一葉社 東京麴町區三番町[illegible] 振替東京[illegible]

歳暮大賣出し
砂糖麥粉 製菓原料 卸商
㊤ 上田商店 京城南大門通三丁目 電話一五〇七番
砂糖……切手、樽詰、箱詰、袋詰

國産
サツポロ
アサヒ
ビール
サツポロ黒ビール
歳末年始御進物用最適品
清涼飲料
シトロン（リボン印）
半打一打入 化粧箱 並ニ 切手調進
大日本麥酒株式會社

●特價發賣申込の好時●
青坡吉村君潔著
銃獵之趣味
見！銃獵の手引＝多獵を希望せん人＝朝鮮の獵地を知らんとする人
銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり這は其の銃器を惡用せざるが爲なり本書は銃器の如何なるかを說き且つ著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せ說き獵犬の使用と善惡を說き朝鮮の好獵地へ導る處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり
定價四十錢 特價金三十錢（郵稅六錢）
發行所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

千生瓢 (73)

須藤南翠作　筒井年峰畫

騎將（十三）

『去りながら殿』
久左衛門は膝を進めた。
『久左衛門は切に無謀の軍の、勝敗ともに益なき事を申し上げまいた。兎角暇取つて在すに於ては、頓て筑前守も引返し參りませう。其大軍に折り合ひて軍致すには、此處は足場が惡い。御聞知りもおざりませうが元弘の昔、楠正成四天王寺に陣取つた時、京より新に宇都宮公綱の降り向ふと聞き、速かに四天王寺を引揚げて、其夜遠篝火の策略を運らし戰はずして宇都宮を走らした例がおざりまする。只今殿の倣はせられうずる方策は、只此楠が明智の軍法一つおざりまする。御心靜かに御分別在らせられい。』と、乾度申しまいておざりまする』
『うむ、能う言うた。うむ、うむ能く申した』
『が、是も何やらの耳に念佛おざりました』と、久左衛門は悄然とした。
勝家は圓な目を瞬ながら、
『孫四郎の加勢に『愈々增長致いた』
『あ、いや殿、孫四郎殿御加勢とおざりまいても、尾山の殿には、甚だ御不興とおざりまするぢや』
『何、玄蕃不興とや。さては城持の大名に、無禮の加へたな』
『尾山の殿、御武勇と申し、御智謀と申し、御歳は若くとも、天晴大將におざりまするが、今日ツな如何な天魔の魅入まいたか、心得難い御振舞におざりまする。殊に前田殿老職の者に對して、今少し致さば軍も相濟ふものを、夫まで引籠つては居られいでと仰せられたとやら、彼家中の侍士共、殊の外憤り居りまする』
『あの道知らずめが！』
勝家は怒髮天に逆つて、ハッタと

もの物言うて、怨みを買ふ迂闊漢め！、手近くば押かけて、折檻しようものを』
火の如く輝く兩眼からは、熱湯の如き涙がはふり落ちる。其憤怒、其遺恨、久左衛門は理に伏して慰むべき詞とても知らなかつた。
少時して勝家は太息した。
『我ら悔うても、もう及ばぬわ。のう久左、彼奴が最後の返事は何とぢや』
『さればおざりまする』と、久左衛門は言ひ淀んだが、漸と意を決した。
『不佞が御諫言、いつかなお聽容れなく、楠であらうが、楔であらうが今日の軍は引くべき軍でない。筑前早う馳せ付けよかし。望む所の猿面冠者、この鐵棒の銹にして、猿の頭の捕物せうぞ。其時匠作の笑ひ面、正しく目の前に見えるぞよ。久左衛門太儀ぢやと、御座を立つて入らせられまいておざりまする』
涙と共に下る久左衛門が目上を開いて居た勝家は、天を仰いで長太息を發した。
『大事は去つた。最後を飾る花々しい一合戰、それとても望みは絶えたわ』
怨に燃ゆる眼も、いつしか自然に濕がれて、
『是れが何で勝家の笑ひ面ぢや。汝この伯父に腹切らさう結構ぢやよ。何とて敵を筑前と思うたであらう、今日は正しう玄蕃こそ敵であつたよ嗚呼！』
斯う言つてまた目を開いた。
『久左、今一應罷り向ひ、玄蕃を前に引き乘せて、有無を言はせず引立つて來う！』
儼と仰ぐ天には、十九日の宵闇稍陰より昏れ初めた。

皮膚科
入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病　黴毒病　痳病　膀胱病　生殖器病　機能障碍
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町）
佐藤醫院（電話一七三番）

泌尿器病
入院隨意（診療夜九時迄）
腎臟病　膀胱病　淋病　梅毒　痔瘻　皮膚病
專門
永樂町二丁目　金光教會隣り
安部醫院　電話四一九番

新刊紹介

▲西洋通史上卷（瀬川文學博士著）瀬川博士の西洋史と云へば今更喋々の要もない其西洋通史上卷は洛陽の紙價を高からしめたもの今度續刊され諸君子大方の福音たり（定價一圓四十錢東京市神田區表神保町九富山房）
▲縮刷父の書簡（瀧川忠雄著）現今の敎育徒に科目多くして、智育は進むも更に德育の事に及ぶや鮮し著者茲に感ずる所あり英の名士チエスターフィールド卿の愛子に與へし書簡集を譯して江湖に推す以て警世の一書（定價一圓東京日本橋區本石町三丁目至誠堂）
▲不折行書赤壁賦（中村不折書）不折の六朝は或は其鈎満以上の崇拜者崇拜者を持つてゐる嘗て十餘年前臨眠帖が出で讀て除亭序が印行され其度每に世の渇望を醫したが今亦更に赤壁賦が出た初めての行書ではあり臨眠帖の蘭亭と蘭亭序の爛熟に、書の恰淡を加味して細めて六朝の全班を見るの心地がある（定價七十五錢送料四錢東京麴町區富士見町一の一三下安堂）
▲拓殖新報（十二月號）定價金廿五錢東京市京橋區北紺屋町四其社
▲保險新聞（五の二二）定價金九錢東京市神田區北神保町八番地其社
▲海外の日本（十二月號）定價金七錢東京市神田區美土代町三の三六洛陽堂
▲都會及農技（一の二）定價金十五錢東京小石川區竹早町五の三六洛陽堂
▲家庭及玩具（一の二）次第に完成に近づく寶ぶ（定價十錢東京市日本橋區本石町二の一五家庭俱樂部）
▲少女（新年號）恒例の大附錄と卷頭には羽子（池）蒸四の原色版あり其他四色寫石版の口繪美しく出世の登龍外少女小說お話繪紙面に充つ（定價十五錢東京市京橋區南傳馬町一の二一時事新報社）
▲少年（新年號）飛行日和（吉田秋光）の寫眞を皇太子殿下の大附錄を添へ他に富み少年に讀んで小說物語あり（定價十五錢東京市京橋區南傳馬町二の一二時事新報社）
▲常盤木（十二月號）定價金十二錢東京小石川區音羽町一九大日本雄辯會講談社
▲經世（九ノ一）
▲新國民（十二月號）定價金十五錢東京市芝區田村町一三大日本國民之學會

▲乃木大將言行錄（山根正次講話）故將軍の風貌を追慕して代議士山根正次氏が其言行に就き各所にて講話したるものを一冊となせるもの大將の偉勳事績等數十頁を插み讀者をして暗涙に咽ばしめ且感奮思はず起たしむるものがある（定價金卅錢東京市本郷區本富士町文光堂）
▲航空機講話（田中舘理學博士著）航空機は槪して軍事交通上重要のものとなつた是に關係ある諸機械及其操縱術の練習は固より大切であるが又其創製改造の種子となる物理學的の研究も決して忽にすべきでない本書は其

コマドリ
名東京大當牌　皮鞄

新刊書御案內

書名	著者	定價
家庭日本歷史	內海月杖	一、三〇
西遊スケッチ	和田垣謙三	一、三〇
銀さ益	日向きむ	八五
社會的近代文藝	馬場孤蝶	一、三五
文學の本質	松浦一	一、三〇
日和下駄	永井荷風	一、〇〇
未だ見ぬ親	五來素川	一、〇〇
哲學より宗教へ	龜谷聖馨	一、五〇
心の修練	大內青巒	一、〇〇
諸子神髓	大僧道人	一、五〇
貯金の秘訣	安田操一	一、五〇
獨うらない		二〇
歌留多の研究	石井庚二郎	六〇
英語獨習新書	村井巳牛	四〇
中等新算術獨習	綾川、岡野	六〇
最新珠算自修書	石上錦之助	五五
日本農村論	横田英夫	九五
現行契約書式大全	鶴谷正司	九〇
軍國主義	蜷川新	一、〇〇
戰時經濟講話	上田貞次郎	八五
最新簡易製鐵術	岡井哲吉	二、三〇
土木工學	川口外ヵ名	二、五〇
波動振動及避雷	風秀太郎	四、五〇

大阪屋號書店
京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三

滿洲 五龍背溫泉
■安奉沿線五龍背驛を距る二丁
■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し
■風光絕佳にして一大樂園地なり
■諸病に特効あり理想的療養場なり
■宿泊、下宿、自炊、各種の設備あり

大正五年 國民日記

日記界の權威『國民日記』の特色

需要供給の原則によつて年々日記類の刊行さるるものも少くはないが大方前年來の體裁やら編輯法やらを襲して唯月日に關係した部分のみを改めるに過ぎないと言ふやうなものが多い。これでは第一一年三百六十五日毎日々々の用に供さなければならない坐右の友としては甚だ不適當である。すぐ飽きられて了ふのは當然である。外形から言つても內容から言つても常に清新と充實とを心掛けて趣味の豐富と實用有益の點に於て我々が活動裡の伴侶たるに適切ならしめねばならぬ。即ち製本及び紙質を吟味して耐久的たらしむべき事、意匠を凝らして趣味あらしむべき事、內容を豐富且實用的ならしめて日常知識の顧問たらしむべき事等ざつと擧げても此等の資格は十分具備してゐなければならぬ。こゝに江湖に推擧せんとする我が『國民日記』は斯かる日記界の缺陷を補ひ我が國民日常必須の要求に應ぜんとして生れたもので、以上の諸點は悉く注意に注意を加へて毫も遺漏なきを期したのである。先づ上等のクロース仕立ての表紙の意匠に眼を見張る間も無く開卷直ちに一枚の吸取紙が手に觸れる。これは言ふまでも無く此日記の周到なる用意の那邊にまで行渡つて居るかを證明して餘りあるものである。それから月々の初めには廣業、清方、蕉園、百穗、耕花、輝方等十二畫伯のそれぞれ特色ある名畫が挿入してあつて飽かず打眺められる。其裏面には月々の季節と式日、行事、節物を面白く揭げてある。さて中に進むと一頁を一日に配して其三分の二を記錄の爲に殘し下方三分の一には古今東西百般の重要知識を網羅して一は日々の誦讀に便じ一は又必要に際して咄嗟の檢索の爲に資してある。尚其欄外には舊曆までも書き添へてあるがこれを揭載する爲には人知れぬ非常の苦心を經たので竊かに此日記の最大特色とさへ編纂者には考へられて居るといふ位である。其他在來の日記類に存するものは一として完備してゐないものは無いが、附錄に載せた五十に近い重要事項の內婚禮の儀式、育兒の栞、家庭救急療法、交際の心得、料理法、衣服の事、花卉園藝の事等をも加へた如きは如何に此日記が日本國民の家庭と言ふ事に眼目を置いたかと言ふ事が證明される。其他重要諸規則、俳句歲事記、年齡早見表、萬年算月表等社會百般の事何一つとして忘れてゐるものは無いと言つて可い。日記界の權威、日本國民の代表的日記と言つても僭越ではない事を信じて江湖に推薦する所以である。

定價金四拾五錢　郵稅金八錢

取次所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

金牌受領
上酒壹升に付四拾錢　御買は特に割引可致候
清酒美淋燒酎　釀造元　京城櫻井町一丁目　中井酒造場　電話百七十七番

醫化學諸器械一式
Ⓚ
仁川本町　北島藥店　電話三三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話七六一番
藥種賣藥卸商

資本金　壹百萬圓
政府貸下金　三十二萬九千二百圓
農工債券發行高　百參拾萬圓
株式會社　漢湖農工銀行
京城南大門通二丁目　銀行長 白完爀　支配人 遠山熙
電話（五二四番　五二七番　五五五番）
支店　開城、春川、江景、太田、公州、鐵原、淸州、忠州、論山
當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥賣藥卸問屋　醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前
山岸天佑堂　藥品部　器械部

診察時間　自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院　電話八二一番

銚子港　田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店　京城明治町一丁目　櫻正宗發賣元　山邑京城支店　電話八四九番　振替貯金京城七五番

商況

仁川米豆取引所

▲依然保合ふ